

2019 年度 日本学生オリエンテーリング選手権大会 ミドル・ディスタンス、リレー競技部門 報告書



期 日 2020年(令和2年)3月13日(金)～15日(日)
(当初予定日) ・3月13日(金) モデルイベント、開会式
・3月14日(土) ミドル・ディスタンス競技部門
・3月15日(日) リレー競技部門、閉会式

開 催 地 栃木県矢板市・塩谷郡塩谷町

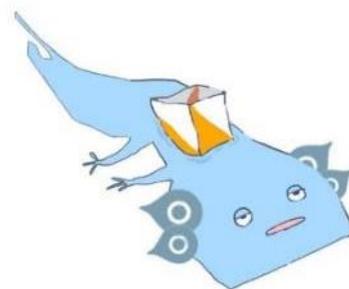
競技会場 矢板市 多目的広場

主 催 日本学生オリエンテーリング連盟

主 管 2019年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門実行委員会

後 援 矢板市、塩谷町、矢板市教育委員会、塩谷町教育委員会、
公益社団法人日本オリエンテーリング協会、
栃木県オリエンテーリング協会

協 賛 株式会社日本旅行、株式会社石井スポーツ、
株式会社ニチレイ、
有限会社ヤマカワオーエンタープライズ、
株式会社フォルテ、八ヶ岳レジャーセンター大泉、
一般社団法人奥三河高原アウトドア協会、
宮西山野製図、坂野山遊地図企画



目次

ご挨拶

Page 3 - 4

1

イベント・アドバイザー報告

Page 5 - 7

イベント・アドバイザー 石澤 俊崇

- 1.1 はじめに
- 1.2 活動報告
- 1.3 おわりに

2

大会運営報告

Page 8 - 19

- 2.1 実行委員会の発足とトレインの確定
- 2.2 活動報告（運営）
- 2.3 活動報告（競技）
- 2.4 大会中止に至るまでの経緯

3

将来への提言

Page 20 - 22

実行委員長 石野 夏幹

- 3.1 はじめに
- 3.2 大会の中止について
- 3.3 インカレ実施規則について
- 3.4 おわりに

4

ミドル競技スタートリスト

Page 23 - 30

- 4.1 選手権の部エントリーリスト
- 4.2 一般の部（男子）スタートリスト
- 4.3 一般の部（女子）スタートリスト

5

リレー競技チーム番号リスト

Page 31 - 32

- 5.1 選手権の部
- 5.2 一般の部

6

大会役員

Page 33

ご挨拶

日本学生オリエンテーリング連盟会長
河合 利幸



この原稿は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言下の連休中に書いています。2月末の段階では、まさか今のような状況になるとは予想もしませんでした。私自身、延期して5月であれば開催可能だろうと考えていました。それがあれよあれよという間に状況が悪化し、3月末には5月の開催をも断念せざるをえない状況に至りました。決断に至るまでに、様々な意見が寄せられ、実行委員や学連幹事の間では何度も繰り返し議論が行われました。結果的には、それぞれの時点では適切な判断がなされたと考えています。

参加予定者の皆さんは、今回のインカレに向けて様々な準備をしていたことでしょうし、その無念さはいかばかりかと思えます。それだけでなく、インカレ史上初の中止だけは避けるべく動いていただいていた実行委員の皆さんの苦勞に報いるものが無くなってしまったことも非常に残念です。

一方で、学連は社会的な存在であり、その責任を果たす必要があります。でなければ、他人の土地を使用して競技することはできなくなるでしょう。その意味では中止はやむを得ないことで、各自の中で折り合いをつけていくしかありません。

さらに、問題は解決したわけではなく、今後のことも考えていく必要があります。夏休みまでクラブ活動が解禁にならない可能性もある中、どのように新入生の勧誘を行っていくか、秋インカレをはじめ、今後のイベントの準備をどうするかなど、難しい問題ばかりです。皆さんの知恵が必要です。

最後になりましたが、未曾有の事態の中、多忙な日々の合間を縫って準備と対処に当たっていただいた実行委員会とその関係者の皆さんに改めて感謝いたします。地元関係者の皆様には、様々な面でご支援ご協力をいただきながら、心配もおかけしてしまったのではないかと思います。主催者の日本学連を代表して、お詫びするとともに御礼を申し上げます。

日本学生オリエンテーリング連盟幹事長
藤本 拓也



史上初のインカレ中止を発表してから2か月が経ちました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。いまだクラブ活動のままならない中、工夫を凝らしてオンラインで出来ることに取り組んでいる現役生の皆さんの姿を見ると、一オリエンテーリング競技者として頭の下がる思いがします。

私にとって今回のインカレは非常に思い入れの強いものでした。日本学連の永遠の課題は「インカレの継続開催」であり、幹事長という立場としてインカレは日常的に意識するものでした。また、一人の競技者の立場としては「最初のインカレと同じ舞台上で開かれる最後のインカレ」のはずであり、テレインが発表されてからずっと楽しみにしていました。もちろん私だけではありません。何度も開かれた話し合いに携わった皆さん、そして大会参加者の皆さんからは様々な意見が出ましたが、そこに共通していたのは「インカレを大切に思う気持ち」だと思います。当たり前なのですが、自分はこれまでインカレに思いをかけていたのか、と感じた人は多いのではないのでしょうか。

この場で私からお伝えしたいのは、そのインカレへの思いをこれからも忘れないでほしい、ということです。耳にたこができるほど聞いたと思いますが、インカレ運営は「企画」「渉外」「準備」「当日」どの部分を切り取っても多大な労力が注がれています。そのモチベーションを支えてきたのは、参加する学生の熱量です。どうかこれからもインカレへの思いを持ち続け、それを後輩たちに繋いでほしいです。たとえば、いま学生オリエンテーリング界は対面での新歓活動ができないことで大きな危機を迎えています。この危機を乗り越えて多くの新人を迎え入れることができれば、それはインカレを継続開催していくうえで大きな前進となることでしょう。今後もインカレが継続開催され、何十年先のインカレ会場で「コロナ騒動でインカレが中止になっちゃって…」という思い出話ができるような未来だと良いな、と思います。

最後になりましたが、今大会の準備にあたってご尽力いただいた実行委員会の皆様、ご協力いただいた地元の方々をはじめとして、関係するすべての皆さんに深く御礼申し上げます。

2019年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門
実行委員長 石野 夏幹



今年度のインカレミドル・リレーは、ご存知の通り、残念ながら中止という結末でした。学生オリエンティアにとって1年間の集大成、そして4年生にとっては4年間の集大成となる場を提供出来ず、運営者として本当に口惜しいです。

参加者の皆さんにおかれましては、色々思うところのある人がほとんどだと思いますが、実行委員会メンバー、そして日本学連の幹事メンバーが行った決断に、いつの日かご理解をいただけると幸いです。

さて、現役学生、特に4年生は喪失感でいっぱいという方が多いかもしれません。そんなに簡単に埋められる喪失感じゃないのだろうと思います。でも、オリエンテーリング界、学生オリエンテーリング界の力はこんなもんじゃないはず。コロナウイルスの影響で今は雌伏の時かもしれません。インカレは中止だし、新歓は本当に大変だと思いますし、かなり感染者数は減ってきてはいるものの、スプリントセレやロングセレ、そして次のインカレスプリント・ロングもまだどうなるか予断を許さない状況です（注：この文章は5月下旬の執筆です）。

でも再び、インカレという夢のような舞台は必ず戻ってきます。3年生以下の皆さんは、焦らずその時を待ってください。そして、学生オリエンテーリング界から成仏出来ないでいる4年生には、何らかの形で、競技者としてか運営者としてか他の形か分かりませんが、少しでもその想いを昇華して欲しいと考えています。微力ながら、協力出来れば幸いです。

最後になりましたが、本大会の準備にあたっては、矢板市・塩谷町の皆様をはじめ、本当に多くの皆様にお世話になりました。実行委員会を代表して厚く御礼申し上げます。このような状況下ではありますが、なにとぞオリエンテーリングをよろしく願います。

1 イベント・アドバイザー報告

イベント・アドバイザー 石澤 俊崇（早稲田大学 1993 年入学）

1.1 はじめに

世界中で感染爆発を引き起こした新型コロナウイルスCOVID-19の影響を受け、2019年度のいわゆる春インカレは一旦の延期を経て、開催中止となりました。実行委員長の石野くんから詳しく報告されている通り、運営者、山川氏、学生の代表らで知恵を絞って協議を行い、決定したことで、今もって悔しい思いは拭えません。心血を注いで準備してきた実行委員会、特に幹部の皆さんや、インカレを目指して準備してきた学生の皆さんの無念の思いを決して忘れることはないでしょう。

一つだけ確かなことは、インカレが行われなかったからといって、やってきたことが無駄になったわけではない、ということです。残念ながら「結果」を知る機会は失われました。しかし、すべてのプロセスは皆さんの進歩、成長につながっています。自分も、若い皆さんほどではありませんが、今回のインカレ運営に関わる機会をいただいたことで、また少し成長できたと感じています。悔しい、やるせない思いだけでなく、インカレに向けて準備した誇りも胸に、少し生きにくくなった世の中を進んでいきましょう。

1.2 活動報告

インカレ実施規則第34条4節に則った内容について、可能な範囲で報告する。

▼1.2.1 要項の内容確認

要項1～3について実施。特に要項3については実行委員会各位と入念な確認を行った。実行委員会で確認→広報担当が修正→アドバイザーが確認→担当者修正、というような手間が生じるため、お互いに期限を決めて行うなど、効率化の余地があると感じた。また、要項3は近年フォーマットが決まっていることによる煩わしさもあり、担当者の負担軽減のためにも、完全なレイアウトにする前段階での完成度を上げることが重要ではないかと感じた。

▼1.2.2 スケジュール全体（宿泊、食事、輸送、日程、費用、トレーニングの機会）の確認

もっとも重要な大会直前～期間中のスケジュールを評価することはできないが、要項3発行までの実行委員会の活動は効率的であり、無理のない日程であったと考える。経費の面でも、必要以上の人数を試走に呼ぶなどのことはなく、常に考えられていた。

予定されていた大会会場は交通の便が悪く、特に大型バスの運用に懸念があった。日本旅行の方にも現地に来ていただき、運用方法について決定していたが、実際にうまく運用できたのかを確認する機会を逸したのは残念である。

運営責任者が記載している通り、今回の実行委員会では連絡ツールとしてSlackとLINEが併用された。従来のMLがSlackに置き換わって、効率化や確実性に進歩を感じた。一方でまだSlackに不慣れな実行委員もいるため、初期の段階でスマホアプリの使い方や、PC版と異なることなどの認識を共有しておくべきではないかと感じた。今後もインカレ実行委員会の情報共有はSlackやTeamsなどになっていくと思われるが、あるべきチャンネル、その作り方などは引き継ぐべき内容だと思う。

▼1.2.3 会場、テレインの適格性確認

規約にはあるが、EAが口出しできる項目とも思えず、あまり意味のない項目かと思われる。会場は大手携帯3社いずれの電波も不安定という課題はあったがオリエンテーリングの競技を行い、観戦を盛り上げる観点において素晴らしい場所であった。また、テレインの適格性は問題なかった。

▼1.2.4 スタート、フィニッシュ、チェンジオーバーエリアのシステムとレイアウト確認

実際に競技は行われず、完成したレイアウトを確認することはできていない。準備の段階において、各エリアのシステム、レイアウトについて問題ないことを確認した。

▼1.2.5 計時システムの信頼性と正確性の判断

タッチフリーSIを採用するような冒険を行っていないため、信頼性、正確性についてはある程度担保できていたと考える。前述の通り、通信環境には課題があったため、選手成績の速報については遅延等が発生した可能性はある。

▼1.2.6 地図が規定に合致していること、地図の正確さ、作図、印刷の妥当性確認

完成版の地図チェックに至らなかったため、特に印刷の妥当性については確認できなかった。規定への合致、正確さ、作図の妥当性については最終試走の段階で判断する限りにおいて、問題ないことを確認した。

今回の地図は、自力での調査能力をほとんど失ってしまったYMOE山川氏が、宮西氏らプロ調査者の元締めとなって作製するという建てつけであった。これは近年のインカレで一般的な形式となりつつある。かつてはインカレの地図というと、山川氏の進捗が遅れ、描きかけの地図で試走をする、ということもあつたりしたが、大きく改善されてきている印象。

一方で、今回がほとんどフォレストの地図調査が初めてというような駆け出しのプロ調査者もあり、実力不足が否めないこともあつた。誰しも最初は初心者であり、経験を積んでいただくことも重要であるが、そのような範囲は他のプロが必ず確認、修正するなどされてしかるべきである。プロの提供物としての、より高い水準を初回試走の段階から求めたい。

▼1.2.7 コースの適格性（距離、競技時間、難易度、コントロール位置と設置状態、偶然性の排除など）の確認

コントロールの設置まで完了した最終形に至らなかったため、位置と設置状態の確認はできていない。距離、競技時間、難易度に関しては最終試走の段階でミドル、リレーとも選手権に相応しいコースを提供できていたと確信している。

▼1.2.8 リレーにおけるコースの分割方法と組み合わせの確認

こちらも完成までにプランナー、競技責任者と話し合い、適切なものになっていたことを確信している。ミドルとは異なり、メンバーになりさえすれば選手権に出走できてしまうリレー、特にレベル差の大きい女子のコースについてはコース難易度のさじ加減に苦心していた。下表は過去3年分のリレー優勝および6位のタイムについて男女選手権を比較したものである。

開催年度	男子選手権			女子選手権		
	優勝	6位	タイム差	優勝	6位	タイム差
2016	2:26:40	2:32:18	0:05:38	2:17:07	2:39:23	0:22:16
2017	2:06:59	2:18:42	0:11:43	2:21:09	2:44:04	0:22:55
2018	2:17:14	2:27:49	0:10:35	2:03:49	2:45:08	0:41:19

男子の方がコース距離は長いにも関わらず、入賞争いは3人合わせて優勝チームから10分程度の接戦が毎年繰り広げられている。一方で女子は2018年度のように30分を超えることも珍しくはなく、男子よりも入賞までのハードルが低いことは常である。中止となったリレーが行われていても、同じことが繰り返されていた可能性が高い。

このことは一概に悪いことではないし、男子よりもチーム数が少ないことも影響している。しかしながら、コース難易度も男子と比べれば簡単に設定されており、レベルの低い状態がインカレの

歴史とともに今日までずっと続いていると考える。今後も学生スポーツとしてのオリエンテーリングの価値を高めるためには、女子選手権もより高いレベルでの争いとなるように、選手たちの一層の努力を期待したい。

▼1.2.9 式典が適切であるかの判断

コロナウイルスの影響を鑑み、開会式は中止とする判断はなされていた。その他式典は準備の途中で中断されたものが多く、適切であったかの判断はできない。構想段階において、特に懸念されることはなかった。

▼1.2.10 競技への影響の可能性の観点から、報道関係者、観客等に対する処遇を確認

こちらも構想、準備段階までで判断するかぎり、十分な配慮がなされていた。

▼1.2.11 運営組織、人事、会計及び競技運営全般の確認

Slack上にてほとんどの情報には目を通し、また関係するメールなどはすべて受信して確認していた。実行委員長、競技責任者と同じOLK出身者が中心となり、コスト意識をもって運営全般が行われていたと評価する。

今回のインカレでは、中止に至るまでの話し合いや、中止に伴う各大学への返金作業など、通常は発生しない仕事が多く発生し、運営者の負担も少なくなかった。実行委員長の石野くんを中心に、大変なインカレ運営をやり遂げたことに敬意を表したい。

1.3 おわりに

2015年には実行委員長をつとめたこともあったり、選手たちの倍以上の年齢となった今もインカレとは深く関わる機会をいただいています。年長者として、今回のインカレをなんとか開催できなかったのか、考えない日はありません。かなり難しい状況であったとはいえ、力及ばず申し訳ないという気持ちは大きいです。

中止という勇気のいる判断は、最終的に学生の代表のみなさんに委ねられました。時間も限られている中、いろいろな思いを踏まえつつ話し合い、結論を導き出したみなさんの態度は立派であったと思います。今回のインカレは残念ながら中止となりましたが、実行委員会のみなさん、学生のみなさんのために、これからもさまざまなオリエンテーリングの機会を提供していきたいと強く思いました。ともに力を合わせて、コロナ後のオリエンテーリングを盛り上げて行きましょう。

2 大会運営報告

2.1 実行委員会の発足とテレインの確定

実行委員長 石野 夏幹（東京大学2010年入学）

▼2.1.1 開催地・テレインの選定

インカレミドル・リレーでは、日本学連ミドル・リレー担当理事の方針で、矢板・日光地区→関西地区→矢板・日光地区→東海地区という4年サイクルで開催地選定が行われている。本年度は矢板・日光地区の年であったため、矢板・日光地区に精通している日本学連副会長の山川氏から提案を受ける形で本テレインの選定が行われ、あとは実際に実行委員会が下見を行って問題ないか確認を行えば良いという状況であった。

▼2.1.2 実行委員会の発足

実行委員長の石野（東京10）については、インカレミドル・リレー2017の終了段階で、2年後を見据える日本学連ミドル・リレー担当理事より内々に打診を受けていたが、本格的に実行委員会が始動に向かったのは2018年度末（2019年初頭）であった。2月～3月上旬にかけて、競技責任者が宮川（立教12）、運営責任者が原田（東北12）、ミドルプランナーが橋本（東京13）、リレープランナーが小泉（慶應義塾13）に内定した。直近のインカレと比較すると、主要役職の世代は少し上となったが、これは関東の学生OBOGの運営リソースが他地区と比べて相対的に潤沢である（つまり、少し上の世代においても、主要役職を務める意思があるものの、まだ経験していない層が存在する）ことを示すのではないかと考えている。

次に、イベント・アドバイザーの選定過程である。本来イベント・アドバイザーは、主催者である日本学連の理事会が指名し、主管者である実行委員会に派遣されるものであるが、本インカレにおいても多くの年と同様に、実行委員会においてイベント・アドバイザーの選定を行い、日本学連に推薦するという逆指名方式をとった。さて、実際の選定過程であるが、まずは比較的學生に近い世代にお願いするのが良いのではないかという考えのもと、3月中旬頃よりインカレミドル・リレー2017の運営者を中心に打診を行った。しかし、なかなか引き受けていただけの方が現れず6月に至ったため、少し上の世代ではあるものの、非常に経験豊富な石澤氏（早稲田93）に打診したところ、快く引き受けていただくこととなった。今回の主要役職者は、インカレ運営の経験は必ずしも豊富ではなかったため、石澤氏を招聘出来たことは非常にありがたかった。

その後、日本学連の理事会で承認を受け、実行委員会が正式に発足した。

▼2.1.3 開催地・テレインの確定

5月中旬に、その時点で内定していた運営者でテレインの下見を行い、山川氏提案の範囲がインカレミドル・リレーを開催するに充分であることを確認した。その後の開催に向けた渉外については、山川氏と渉外責任者の高橋（東北15）を中心に行った。

2.2 活動報告（運営）

運営責任者 原田 龍馬（東北大学2012年入学）

本項では、大会運営の概要を報告する。なお、競技に関わる事項の詳細については、別項に記載のため割愛する。

▼2.2.1 活動概要

	月	活動内容	詳細/備考
2019	3	活動開始	・主要役職決定

	4	初期渉外開始	・ YMOE山川氏によるテレイン及び地元の初期渉外
	5	テレイン下見	テレインの下見を実施し、以下の内容を決定 <ul style="list-style-type: none"> ・ テレイン使用範囲 ・ 会場(旧長井小学校) ・ 開会式会場(矢板市文化会館) ・ 大会開催日の仮決定(3/13-15)
	6	実行委員会の発足	・ 日本学連理事会の承認を経て、正式に実行委員会を発足
	8	要項1発行	8/1 発行
	10	要項2読み合わせ	10/27 <ul style="list-style-type: none"> ・ 要項2読み合わせ ・ ミーティング 議題：今度の予定について 会場変更の検討
	11	渉外	・ 会場変更に係る渉外(YMOE山川氏)
		要項2発行	11/14 発行
	12	開会式会場の変更	・ 矢板市文化会館⇒矢板市体育館 (2019年10月に発生した台風19号で、矢板市文化会館が床下浸水の被害により利用不可となったため。)
		大会会場の変更	・ 旧長井小学校⇒多目的広場
		第1回試走	12/21～22 <ul style="list-style-type: none"> ・ 矢板市体育館の下見。 ・ ミドル、リレーの選手権クラスの試走。 ・ 選手権待機所の決定。
2020	1	第2回試走	1/25～26 <ul style="list-style-type: none"> ・ ミドル、リレー ・ バス輸送の経路決定。 ・ 会場レイアウトの決定。
			・ 大会キャラクターの決定 ・ 各企業への協賛依頼。
	2	要項3読み合わせ	2/2 <ul style="list-style-type: none"> ・ 要項3読み合わせ ・ ミーティング 議題：新型コロナウイルス対策について
		第3回試走	2/8～9 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全てのコースの確定 ・ 要項3記載情報の確認 ・ 各パート残課題の整理
			2/15～ <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナウイルスの感染拡大について、日本学連にて議論開始。

	要項3発行	2/17 発行
		2/28 ・日本学連の決定により、5月以降に開催延期の決定。
3		3/5 ・日本学連の決定により、5/9～5/10に開催延期。
		3/28 ・日本学連の決定により、開催中止の決定。

▼2.2.2 業務委託契約

本大会では、ICSL2019に倣い、地図作成・マネジメント業者のYMOE社と業務委託契約を締結した。これは書面にて「業務委託の基本的なルール」「運営の根幹に関わる業務の納期」「自責による業務遅延に対する罰則」「YMOE社所有物品の賃料」等を明記することが目的である。締結後、業務計画にある程度の遅延が生じたが、その都度補填が行われた。

しかし、業務委託契約の中に「本大会が中止となった時の対応」が抜けていたため、新型コロナウイルスによる大会中止決定後、費用負担の折衝が難航した。

以上のことから、今後業務委託契約を継続的に実施する場合、大会中止時の対応も含めるべきである。

▼2.2.3 渉外報告

本大会の渉外は、YMOE山川氏主導で実施した。基本的には、自治体・テレインの山林を管理する団体等への渉外、地元住民への告知を行った。また、開会式会場や選手権待機所等の利用申請、地元出店や大会バス停留場の調整を行った。2019年10月の台風による浸水被害の影響調査や、新型コロナウイルスに対する矢板市の動向調査も行った。

▼2.2.4 大会調達資材

本項では、大会に使用予定だった資材について簡単に報告する。

借用備品

品名	借用元	備考
仮設トイレ	株式会社 石川仮設	16台
テント	矢板市	
机・椅子	矢板市	
EMIT資材	YMOE、EMIT協会	
オンラインコントロール	的場氏	試走時から借用
GPS端末・装置	戸上氏	試走時から借用
GPSトラッキングアプリケーション	上野氏	試走時から借用
ディスプレイ	株式会社 アズオン	ICMR2019、ICSL2020で使用実績あり

▼2.2.5 輸送・交通について

本大会では日本旅行のご協力の下、参加者を宿から大会会場まで大型バスによる輸送を計画して

いた。

当初、大会会場が旧長井小学校(ICSL2016の大会会場)であったため、大型バスでの輸送は可能であると考えていた。

しかし、競技上の都合により大会会場が多目的広場へ変更になった。

第2回試走時に日本旅行の小林様に現地を下見していただいたとき、以下の指摘を受けた。

- ・会場まで続く道の幅が狭く(乗用車でもすれ違いが難しい)、大型バスで侵入することが難しい。
- ・道路脇の木々の枝が上からしな垂れており、バスの車体上部に当たる。(バスを傷つける)

上記の指摘を受け、実行委員会では大型バスで旧長井小学校まで参加者を輸送し、そこからマイクロバスでの輸送を検討した。参加者を全員輸送するためには、マイクロバスを十数台手配する必要があったが、新型コロナウイルスの影響で必要数分のバスの手配ができなかった。

参加者の負担と運営側のリソースを考慮した結果、最終的に以下の運用で参加者を会場まで輸送することにした。

- ・旧長井小学校(併設大会参加者用の駐車場)まで宿から大型バスで輸送する。
- ・旧長井小学校から大会会場まで徒歩で移動してもらう。(片道45分)
- ・学校旗やブルーシートを運ぶ学生、併設大会参加者の子供連れやご年配の方については、旧長井小学校⇄大会会場間をマイクロバス2台でピストン輸送を行う。
- ・リレーの日はキャリーケースなどの大きな荷物があるため、旧長井小学校の体育館を荷物置き場として利用する。

将来の提言として、早い段階から日本旅行の小林様に現地の下見をしていただいた方がよいです。

▼2.2.6 プロジェクト管理

①人事

本大会の主要役員人事(パートチーフ、サブチーフ)は2019年11月までに決定した。基本的に関東圏に在住の人員を役員候補として募集したが、遠隔作業可能な役職(広報責任者やHP担当)は在住地域にとらわれず、選任した。

②渉外状況確認

YMOE社の山川氏に対してTODOリストを作成し、定期的な報告を依頼することで、渉外状況の進捗を把握した。本大会において、渉外に関する遅れはなかった。

③管理ツール

本大会では、以下のツールを使用した。

ツール	使用者	使用用途
gmail	主要役職	外部機関との連絡
Odyssey	全員	ファイルの共有 出欠確認 経理申請
Slack	全員	業務連絡 ファイル共有
Google フォーム	全員	アンケート調査

本大会では、業務連絡ツールとしてSlackを使用した。

◆Slackのメリット

- ・各パート毎にchannelを分けることができ、パート間で会話内容が混在しない。
- ・後から役員に加わったメンバーでも、過去のchannel内の会話を確認できる。
- ・個別に連絡を送ることができる。
- ・PDFやEXCELなどのファイルを共有することができる。

◆Slackのデメリット

- ・共有されたファイルを引継ぎ資料として残せない。
- ・既読／未読機能がないため、連絡が届いているかわからない。

Slack使用时には、明確な運用ルールを策定する必要がある。特に将来のインカレ運営の参考資料として残すべきファイルについてはOdysseyにアップロードする運用が望ましい。

④その他 UNIVAS CUP

本大会でも、ICSL2019に引き続き大学スポーツ協会（UNIVAS）による競技横断型ポイント制対校戦（UNIVAS CUP）対象大会となった。2020年1月から連絡を取り始め、第3回試走時に現地の下見を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止となった。

2.3 活動報告（競技）

競技責任者 宮川 早穂（立教大学2012年入学）

本項では、本来競技に関する運営準備過程を報告しますが、該当年度のインカレミドル・リレーはコロナウイルス感染拡大防止のため、開催をすることは出来ませんでした。今回のテレインはクローズの方針と聞いていますので、競技情報は伏せた形で、5つのトピックについてご紹介します。

▼2.3.1 会場レイアウト

要項3にて発表したリレー競技部門の会場レイアウトは、競技担当、演出担当、会場担当、アドバイザーが様々な要素を考慮しながら作成した会場レイアウトでした。



この会場レイアウト、当初の案では、フィニッシュエリアは下記のような形になっていました。



これでは、フィニッシュした選手が観戦エリアに戻るためには、舞台の裏を通り渡河点を通らないと観戦エリアには戻れません。ですが、要項3で公開したレイアウトでは、フィニッシュが観戦エリアの目の前に位置しています。

インカレリレーは、チームで走る競技である、ということを重視したのです。走り終えた選手を、いち早くチームメイトが迎えられる、そんなレイアウトにすることを意識して作成しています。

今後インカレリレーの会場レイアウトを作成する機会がある方がこの報告書を読んでいたら参考にしていれば幸いです。

▼2.3.2 コースコンセプト

今回のミドル・リレーのコースコンセプトをご紹介します。コースは全て完成し、2020年3月14日/15日を待つのみとなっていました。

◇ミドル競技部門（コースプランナー：橋本 知明（東京大学2013年入学））

課題が単調にならないよう、様々な課題を各レグに散りばめた。ある課題に強い人・矢板に強い人ではなく、総合的に強い人が勝つようなバランスを意識した。

短い中でもレース全体の組み立てをしっかりと行い、自分の勝負どころを見極めて勝負をかけられる人がトップラップを叩き出し、タイム差を自らの力でつけにいくことが求められたであろう。

◇リレー競技部門（コースプランナー：小泉知貴（慶應義塾大学2013年入学））

ラフ区間とファイン区間を見分けて、瞬時に自分のナビゲーションを切り替える必要のあるコースを用意した。

「集団走」という個人競技と全く異なる性質の競技で、「チーム」として戦える大学が勝つ展開を想定し、周りの人を使いながらも、自分のオリエンテーリングを維持し続けることを重視した。

選手たちが「走りたかった」と言ってくれる分だけ、私たちもまた、「走ってほしかった」と感じています。いつか、日の目を見る機会が来ることを願っています。

また、地図調査は実行委員会よりYMOEに発注、その下請けという構図で宮西山野精図/坂野山遊地図企画/高野氏に作成いただきました。多くの範囲を宮西氏に作成いただき、新規範囲は坂野氏に担当していただきました。競技担当側の細かな要望にも丁寧に対応いただき、広範囲の地図を作り上げてくれました。この場を借りて、心から御礼申し上げます。

▼2.3.3 コロナへの対応

2020年2月、世界はコロナウイルスへの脅威にさらされ、このインカレも例外なく対応を余儀なくされました。当時、この世界がどのような方向に進んでいくのか、全く予想がつかない状況でし

た。あらゆるパターン・可能性を検討し、インカレを開催するために日本学連・実行委員会・渉外を担当いただいた山川さんが力を合わせ、前へ進めようと尽力していきました。その指揮を取った日本学連幹事長の藤本さん、実行委員長の石野さん、そして、渉外活動を一手に担ってくださった山川さんへ、改めてお礼の言葉を伝えたいと思います。

このような事態は訪れないことを願いますが、今後の世代に向けて願うこととすれば、「インカレの開催をどうか続けてください」。そして、「インカレを競技として成立させてください」、ということになります。

多くの方がインカレという舞台のために、力を尽くしています。この舞台が続くために、力を貸すことができる人は多くいます。時代・状況・リスク、あらゆる要素を考慮した上で、インカレが長く続くことを祈っています。

▼2.3.4 常に選手のことを考えながら

最後に、競技責任者として意識したことをお伝えします。それは、常に選手のことを考える、ということでした。このインカレの舞台で結果を残すために、日々トレーニングに励み、地図を読み、週末には山で技術を磨く選手は多くいます。そんな選手たちが、最高のパフォーマンスで競い合える舞台を用意することを常に考えて準備をしてきました。

しかし、結果として、その舞台が訪れることはありませんでした。最終学年だった4年生には、今後学生という立場で参加するインカレがもう訪れることはありません。それでも、オリエンテーリングと出会って、何かひとつでも良かったと思えることがあることを願います。

記録を記憶として残すため、4年生の走りを動画としてまとめました。

URL : https://youtu.be/qHKtohzS_MI

※素材提供：尾崎さん、作成：インカレ実行委員会（北川、小柴、有賀、宮川）。

2.4 大会中止に至るまでの経緯

実行委員長 石野 夏幹

▼2.4.1 大会中止に至るまでの概要

本大会は、周知の通り、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、中止とすることになった。中止に至る経緯を記すことは、後世への教訓とするためにも、また関係各位への説明責任を果たすためにも意義があると考えているため、大会運営報告の中でも独立した項目を立てて詳述する。

＜大会中止に至るまでの時系列表＞

時期	インカレ運営の動き（矢板市の動きを含む）	社会全体の動き
1/16		国内初の感染者
1/23		武漢封鎖
2/2	要項3読み合わせの後、新型コロナウイルス対応について、初めてのミーティング（主要3役）	
2/5		ダイヤモンド・プリンセス号での集団感染発覚
2/17		東京マラソン、一般参加者縮小報道
2/20		厚労省、イベント主催者に開催の必要性検討要請（一律の自粛は行わず）
2/22	実行委員会から「コロナウイルス感染拡大への対応について」を日本学連に提示。今後の方針決定のスケジュール、通常通り開催する場合にとる措置、中止（延期）や縮小開催す	

	る場合の判断基準を示す。	
2/23	日本学連幹事会@阪神奈大会。実行委員会からは競技責任者が参加し、上記文書を元に協議。この時点で開会式や後夜祭は中止が決まる。	
2/24		政府専門家会議「これから1-2週間が急速な拡大に進むか、収束できるかの瀬戸際」との見解示す。
2/25	「矢板市における会議・イベント等開催判断基準」が発表。一律の中止または延期は求めず。	
2/26		総理より、「多数の方が集まるような全国的なスポーツ、文化イベント等については、大規模な感染リスクがあることを勘案し、今後2週間は、中止、延期又は規模縮小等の対応を要請することとする」とのメッセージ。
2/27	矢板市より、3/13~3/15の日程でのインカレ開催NGとの見解が示され、この日程での開催断念。実行委員会と日本学連幹事による合同ミーティング。	総理、全国の小中学校と高校、特別支援学校に、春休みまでの臨時休校を要請する考えを表明。
2/28	日本学連幹事会。5月以降に延期しての開催との方針決定。	
3/1	実行委員会ミーティング	
3/3	上記ミーティングを踏まえ、実行委員会より、延期後の日程、大会開催可否判断の決定時期、延期後の日程でも駄目な場合は中止かどうか、の三点を日本学連に提案。	
3/5	日本学連幹事会。延期後の日程は5/9~10、大会開催可否判断の時期は3/25、延期後の日程でも駄目な場合は中止との方針が決定。	
3/11		WHOによるパンデミック宣言
3/13		新型コロナウイルス特別措置法成立。緊急事態宣言が可能に。
3/14	日本学連幹事会。開催可否判断基準、ミドルエリート欠員補充等について。	
3月中旬		ヨーロッパやアメリカの感染者数激増、都市封鎖。
3/19		政府専門家会議。イベントについての方針は緩和されず。
3/24	今夜予定されていた日本学連幹事会が、明日の矢板市重職者会議の結果を待つため延期(3/25の大会開催可否判断も延期)。	東京五輪延期が決定
3/25	矢板市重職者会議。会議・イベント等開催判断基準が示されるも、インカレ開催NGとの内	東京都、週末の外出自粛を要請

	容ではなかった。	
3/26	実行委員会ミーティング	
3/27	上記ミーティングを受けて、大会開催可否判断の選択肢を、実行委員会より日本学連に提示。 日本学連幹事会開催、大会中止を決定。	

▼2.4.2 初動から延期に至るまで

2月2日に要項3読み合わせを行った後、主要3役ほかで行ったミーティングの際、新型コロナウイルス対応について初めて議題とした。この段階では国内の感染者はごくわずかであり、ダイヤモンド・プリンセス号の集団感染も判明しておらず、いまだ中国国内において流行している感染症という印象であった。そのため延期や中止を本格的に検討する段階ではなかったが、念のため中止の際の判断基準・決定期限・周知方法について簡単に話した。

その後、本格的に対応方針を検討し始めたのは、2月中旬になって東京マラソンの縮小報道が出た頃である。また20日には、厚生労働省が、イベント主催者に開催の必要性を改めて検討するよう要請する（ただし一律の自粛要請は行わず）など、イベントの先行きが不透明になりつつあった。

そのため、実行委員会において、今後の方針決定のスケジュール、通常通り開催する場合にとる措置、中止（延期）や縮小開催する場合の判断基準等を記載した基本方針案として、「新型コロナウイルス感染拡大への対応について」を作成し、日本学連に提示した。これを参考に、23日に阪神奈大会の会場で日本学連が臨時幹事会を行い、実行委員会からは競技責任者が参加した。この時点での方針概要は以下の通り。

<2月23日時点の日本学連の方針概要>

- ・基本的にはインカレを中止にしない。種目を絞っての部分開催もしない。
- ・ただし、今後の状況悪化により通常通り開催することが難しくなる状況に陥る可能性は排除できず、3月10日までに最終判断を参加者に伝える。
- ・政府によってイベントの中止命令が発表された場合、および地元自治体から中止の要請があった場合は、その時点で中止を決定する。
- ・その他、判断する際の材料としては実行委員会案（国内・栃木県内・矢板市内の新型コロナウイルスによる死者数・感染者数、バス輸送・宿泊施設の状況、他の各種イベントの開催状況等のことを指すと思われる）の通り。
- ・なるべく通常通り開催できるよう、減らせるリスク（特に屋内でのリスク）を減らす。よって、開会式は矢板市体育館では行わず、後夜祭は中止とする。

また、その他この時点で実行委員会が検討していた感染拡大防止対策は、①発熱者等感染が疑われる者の参加自粛依頼、②大会開催初日に至るまでの14日間に新型コロナウイルス罹患者と濃厚接触した者の参加自粛依頼、③大会会場におけるアルコール消毒液の設置、④宿泊施設等における手洗い・うがいの励行、⑤マスクの着用義務化（レース中を除く）、⑥宿泊施設におけるミーティングの簡素化依頼、⑦飛沫が多く飛び交うような行為（円陣での掛け声、大声での応援）の自粛、といった内容であった。

20日の厚労省要請などを受けて、矢板市は25日に「矢板市における会議・イベント等開催判断基準」を発表したが、感染拡大防止対策を求めつつも、一律の中止または延期を求めるような内容ではなかった。山川氏が行った矢板市渉外の結果も、屋外イベントのみであればミドル・リレー両種目とも開催は問題ないというものであった。

一方、24日に、政府の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議は、「これから1 - 2週間が急速な拡大に進むか、収束できるかの瀬戸際」との見解を示した。そして26日には、安倍内閣総理

大臣が、「多数の方が集まるような全国的なスポーツ、文化イベント等については、大規模な感染リスクがあることを勘案し、今後2週間は、中止、延期又は規模縮小等の対応を要請することとする」とのメッセージを出した。

以上のような日本国内の状況変化、日本政府の方針変化もあり、27日午前矢板市より3月13～15日の日程でのインカレ開催は認められないとの見解が示されたため、当初日程での開催を断念するに至った。そして、27日夜に日本学連幹事と実行委員会の合同ミーティングが、また28日に日本学連幹事会が開催され、①延期先は年度内ではなく5月以降、②選手権クラスだけに絞らず一般クラスも含めた開催を模索、③時期は可能であればゴールデンウィーク中で調整、との方針で進めることになった。選手のモチベーション維持等の観点から、年度内の別日程への延期で開催出来ないかとの意見も見られたが、年度内では感染の拡大状況が不透明であり、開催出来る状況になっていない可能性があるのではないかという意見が大勢を占め、5月以降という結論になった。

▼2.4.3 延期から中止に至るまで

5月以降に延期開催という方針を受けて、実行委員会は3月1日にミーティングを行い、3日に以下の通り日本学連に提案を行った。

- ①延期後の大会開催日程について、日本学連はゴールデンウィークでの開催を希望しているが、日本旅行に連絡をとったところ、宿泊施設確保が非常に困難であるとの見解。よって、第1希望：4月25～26日、第2希望：5月9～10日かどうか（金曜日に予定していた諸行事（モデルイベント・開会式・併設トレイル）については、日程の都合上開催せず、金曜の前泊取りまとめも行わない形で考えている）
- ②大会開催可否判断（縮小開催の決定を含む）は、3月25日で問題ないか
※大会開催まで1ヶ月程度の準備期間を持つ意図
- ③新たに決定した日程での開催が不可能となった場合、再延期は行わずに中止が妥当と考えるが、どうか。

また、1日のミーティングでは、ミドル一般クラスのスタートを30秒間隔とすること（ミドルの日のスケジュールが前泊無しにより圧迫されるため）、再エントリー（エントリーの追加・変更・キャンセル）期間を設けること、要項3の再発行はWEB媒体のみとすること、といった方針を固めた。

日本学連幹事会は、日程案についてはアンケートを実施した上で、5日に以下の通り決定した。

- ①延期後の大会日程は5月9～10日。なお金曜日に予定していた諸行事（モデルイベント・開会式・併設トレイル）については、日程の都合上開催しない。
- ②、③実行委員会案通り

また、14日には日本学連幹事会が行われた。話し合いの主な内容は以下の通り。

- ①開催可否判断基準について
 - ・5月9日～10日を含む期間に政府もしくは地元自治体からの中止要請が出ている場合
 - ・栃木県北部に経路不明の感染者のクラスターが発生した場合の2点を中止する基準として想定し、
 - ・渉外等の事情で、選手権クラスのみなら開催可能という場合は、縮小開催とする
- ②ミドルエリート欠員補充
地区学連枠数を変更せず、欠員が出た分を地区学連内で補充する

なお、この頃の社会全体の動きだが、11日にWHOがパンデミックを宣言し、ヨーロッパやアメリカにおいては感染者数が激増した結果、いわゆる都市封鎖と呼ばれる現象が起きつつあった。日本においては、13日に「新型コロナウイルス特別措置法」（新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正）が成立し、緊急事態宣言発出に向けた準備も進みつつあった。

そして、政府が明言した「今後2週間」が終了し、19日に新型コロナウイルス感染症対策専門家会議が開催された。イベントに関する専門家のメッセージが、より開催に向けて舵を切れる方向

になることも期待されたが、イベントについての方針は特段緩和されなかった。

25日の大会開催可否判断決定期日が迫る中、直前になって、矢板市の重職者会議が25日に行われることが判明したため、日本学連幹事会開催の余裕を持つ観点から、幹事会開催は27日に、大会開催可否判断決定期日も28日に延期された。

24日に東京五輪延期が決定し、25日には東京都が初の外出自粛要請を週末に行うと発表する中、26日朝に矢板市重職者会議の結果が到着した。5月9～10日のインカレ開催について自粛を求めるのではなく、また矢板市における会議・イベント等開催判断基準が示されたものの、これまで考えてきた感染拡大防止対策で充分対応可能な内容であった。

しかし、「議論の方向性が、どのように国や矢板市の定めた基準をクリアして開催するか、になっているのではないか」、「本当に必要なことは、専門家が出す感染リスクや対策といった情報等を主体的に咀嚼して、最適な結論を導くことではないのか」との問題提起も実行委員会内で行われる中、日本学連幹事会に開催可否判断の決定をただ委ねるのではなく、当初開催可否の判断基準を決めた時とは情勢が大きく変化していることや、矢板市重職者会議の結果も踏まえつつ、やはり実行委員会としても案を出すべきではないかとの話になった。そこで、急遽26日夜に実行委員会でミーティングを行った。このミーティングで話し合った内容を元に、実行委員会から日本学連に提示した選択肢と各選択肢をとる理由の概要は以下の通り。

1.中止とする（有力案）

- ・今の世界や日本の状況を踏まえると、各種措置を講じたとしても感染リスクは無視できない
- ・インカレでクラスターが発生した場合、全国的に感染が拡大するリスクがあり、社会的なリスクも高い
- ・大学が学生の活動を規制しており、社会人も会社から参加を許されるか分からない
- ・他の各種大会が開催を中止する中、インカレだけが開催出来るロジックが無い

2.ミドル選手権の部のみ単日開催とする（有力案）

- ・感染クラスターが発生しやすい3要件（密閉・密集・密接）は回避可能であり、濃厚接触のリスクは低い
- ・リレー選手権の部のみ開催と比べると、参加人数も少なく、大会会場に長時間留まる必要も無い
- ・リレー選手権の部のみ開催と比べると、状況に応じて運営のクオリティを下げることで、感染リスクを極小化するための対策を取りやすい

3.リレー選手権の部のみ単日開催とする（案）

- ・特筆事項無し

4.選手権の部のみで、ミドル・リレー両日開催とする（案）

- ・この場合でも、感染クラスターが発生しやすい3要件はほぼ回避可能であり、濃厚接触のリスクはそれほど高くない
- ・矢板市が示す基準はクリア可能
- ※一方、宿泊である程度的人数が集まるリスクは避けられない

5.選手権の部のみ開催をここで決めておいて、さらに3週間様子を見る（山川氏案）

- ・今が瀬戸際であり、東京都によると今後3週間の我慢が重要とのこと
- ・今後良い方向で進めば、3週間後にはより多くの人がある程度合意出来る案が出せる
- ・選手権のみ開催なら、3週間後から準備しても間に合う

(参考) 一般の部も含めて通常通りの開催とする案

※非常に困難

また、この時点で実行委員会が検討を始めていた感染症対策は、前述のものに加えて、大会バスの換気、大会バスでの会話自粛依頼（又は原則禁止）、大会バス乗降時のアルコール消毒、手洗い場所の確保、よく触れる場所の消毒、リレー1走整列時の間隔を空ける、保健所への事前連絡などである。

27日夜、日本学連幹事会が開催された。議論の流れは、議事録によれば以下の通りである。まず、5の「3週間様子を見る」選択肢が却下された。その後、三密は回避可能、何とかしてインカレを継続出来ないかといった観点から、2の「ミドル選手権の部のみ開催」を支持する意見も出たが、感染リスクを完全にクリア出来るロジックが無い、インカレが原因で感染者が出た場合に社会的責任を問われるといった観点から、1の「中止」やむなしとの意見が多く出て、山川氏からは矢板市の基準に直近の情勢は反映されていないとの情報提供があった。最終的に、学連幹事からの意見を集約した結果、1の「中止」やむなしとの意見が大勢を占め、大会中止を決定することとなった。

なお、本大会の中止を最終的に決定するに至った理由については、3月28日に日本学連より通知された以下のお知らせが、端的かつ的確であると考えているため、この報告書でも引用させていただきたい。また、日本学連幹事会等における詳細な議論内容については、お知らせ中のリンク先も参照されたい。

インカレミドル・リレー2019 開催中止のお知らせ (抄)

2020年5月9日～10日に延期しての開催を予定していたインカレミドル・リレー2019について、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、開催を中止とすることに決定しました。

2月下旬以降、日本学連幹事会および実行委員会では開催の可否について検討を重ね、延期が決定してからも規模を縮小しての開催を目指していました。しかし、この1ヶ月でむしろ悪化している感染状況を鑑みると、選手権限定の開催・単日開催等の感染リスクを低減する措置をとったとしても5月上旬に日本全国から選手の集まるような大会を開催することはできないと考えております。

幹事会の議事録、使用資料については下記リンクよりご覧いただけます。

https://drive.google.com/open?id=1c1pjdBqjV4fASMe0ewHuFeGLmrva_tWk

日本学連としてインカレを途絶えさせてはいけないという考えで進めてまいりましたが、現在の状況で強行開催して感染が発生した場合に今後のインカレの開催が難しくなる社会的リスクを重く受け止め、インカレの継続開催のためには今回は中止とするのが最善だと判断しました。大変心苦しい決断ではありますが、ご理解いただけますと幸いです。

(以下略)

3 将来への提言

実行委員長 石野夏幹

3.1 はじめに

本章では、本大会を運営していく中で得た所感をまとめ、インカレ実施規則第12条における「将来への提言」とさせていただきます。次年度以降に少しでも活かしていただければ幸いです。

3.2 大会の中止について

▼3.2.1 決定プロセスについて

対応の初期段階においては多少の混乱がございましたが、途中から「実行委員会からの提案」⇒「日本学連幹事会等での決定」というプロセスを確立することが出来ました。通常の場合、主管者たる実行委員会は、インカレ実施規則の範囲内であれば、必ずしも主催者たる日本学連に決定を仰ぐ必要は無いものと考えております。ただ、今回の新型コロナウイルス対応は、めったに起こらないレベルのイレギュラー対応であり、インカレ実施規則とかそういった次元を超えておりました。そのため、この決定プロセスは適切であり、今後の先例（同種の事態はあまり起こってほしくないですが）となりうるものだと考えております。

一方で、どの論点は実行委員会で決めてしまってよくて、どの論点は日本学連（主に幹事会）に決めてもらうべきなのか。また、ある論点について、実行委員会としてどこまで具体的に日本学連に提案すべきなのかという点で悩む部分がございます。日本学生オリエンテーリング界における統括機関として正統性のある日本学連と、一応は先達としてオリエンテーリングの運営経験や社会経験において日本学連の学生幹事メンバーに比して一日の長があるインカレ実行委員会のメンバーと、両者の役割分担には微妙な部分もあります。

例を挙げますと、最後の3月末の判断にあたって、実行委員長としては当初日本学連の決定を待つ構えでした（開催・縮小・中止の選択に絶対的な正答はなく、であれば正統性のある日本学連が、既にこれまで話し合ってきた基準をもとに決めるべきとの考え）。一方、実行委員会内では、情勢が大きく変化しており、これまで話し合ってきた考え方や基準は成り立たず、積極的に実行委員会の意見案・有力案を伝えるべきではないかといった意見が出ました。そこで、実行委員会が日本学連の決定の選択肢を閉ざさないように、強弱は付けつつも選択肢を幅広く提示する形で、伝えることとしました。結果的には、ちょうど良いバランスだったと考えておりますが、なかなか難しい局面でした。

結局は、その都度日本学連と実行委員会がしっかりコミュニケーションをとりつつ進めていくしかないのでしょうか。日本学連との連携は、通例インカレミドル・リレー担当理事や日本学連幹事長を通じて行うことになると思いますので、今後の実行委員会においても、大事な局面では連絡を密にとってほしいと思います。

▼3.2.2 感染症対策と大会中止（縮小開催）の基準について

まず、今回実行委員会で検討していた感染症対策は、その時点では概ね妥当なものであったと考えております。大会運営報告の再掲ですが、2月末段階では、

- ①発熱者等感染が疑われる者の参加自粛依頼
- ②大会開催初日に至るまでの14日間に、新型コロナウイルス罹患者と濃厚接触した者の参加自粛依頼
- ③大会会場におけるアルコール消毒液の設置
- ④宿泊施設等における手洗い・うがいの励行
- ⑤マスクの着用義務化（レース中を除く）
- ⑥宿泊施設におけるミーティングの簡素化依頼
- ⑦飛沫が多く飛び交うような行為（円陣での掛け声、大声での応援）の自粛

といった内容でした（3月末には、大会バス等における対策も追加で検討）。

ただこれは、厚労省が出している情報を中心に、当時急ぎ策定したものであるので、今後のインカレにおいてはあまり参考にならないでしょう。当時と感染症の状況は同じではない上、ウイルスの性質も新たに明らかになっているところです。オリエンテーリング業界においては、たとえば西村氏がどのような対策が必要なのかをまとめられておられますし、そういった内容を参考にいただければと存じます。また、インカレはこれだけの大規模なイベントで、他のオリエンテーリング大会とは性質が異なる部分（大会バスの比重が高い、大人数で同宿に宿泊、開会式など）もありますので、個別に医療の専門家の意見を聞くといった手段も模索して良いように思います。

次に大会中止（縮小開催）の基準ですが、2月末の延期判断の段階では、判断の余地が少ない外部要因として

- ・政府によるイベント等の中止命令 → 基本的に中止
- ・受入市町村である矢板市や塩谷町から中止の要請 → 基本的に中止
- ・バス会社が輸送不可能 → 中止又は大幅に大会を縮小
- ・宿泊施設が受け入れに難色 → 中止又は大幅に大会を縮小

としつつ、判断の余地があるものとして

- ・国内、栃木県内、矢板市内の新型コロナウイルスによる死者数、感染者数
- ・政府による（中止命令ではないほどの）メッセージ
- ・他の各種イベントの判断

※オリエンテーリング2大会、トレイルランニング4大会、マラソン大会3大会、サッカーJリーグ・プロ野球オープン戦・大相撲3月場所を選定

を考慮する要素に挙げておりました。

結局当初の日程は、矢板市の判断で不許可となってしまいましたが、初期の段階で他競技も含めて多くの大会の状況をウォッチしたことは、状況を冷静に見極める上で良かったと思います。

一方、3月末の中止判断の段階においては、2月末の基準や考慮する要素を踏襲しつつ、「経路不明の感染者」「感染者のクラスター」といった新たに重視されていた要素を取り入れておりましたが、2月末の経緯もあって、最初は「国や矢板市の基準をいかにしてクリア出来るか」という点に傾倒した議論になっておりました。この傾向は途中で修正されたものの、最終的に「国や矢板市の基準はクリア出来る」が、「感染リスクを完全には無くせない」以上「社会的なリスクを無視できない」とのジレンマに陥ることになりました。

この点、漠然とした提言で申し訳ないのですが、今後のインカレ開催に当たっては、国や自治体の基準をクリアすることは当然として、感染拡大リスクと社会的リスクをいずれもバランス良く考慮した判断をしてほしいと考えております。

▼3.2.3 参加者への連絡について

本大会は、中止に至るまでの連絡および中止決定後の返金が発生したため、加盟校へ連絡を取る機会が例年よりも多かったように思います。

中止に至るまでの日本学連幹事会などにおける決定事項については、決まり次第日本学連から各加盟校にメーリングリストを通じて御連絡を差し上げ、その後同様の内容を大会ホームページにおいても周知するという形で上手くいったように思います。大会ホームページへの掲載は少々遅れることがありましたが、メーリングリストでの周知を行っていたため問題無かったと考えております。

一方、各大学に個別に連絡を取りたい局面においては、各大学の代表者のメールアドレスを収集していなかったことがネックとなりました。エントリーサイトに記入欄を設けるべきだったと考えております。ただ、そもそも返金用口座や要項3送付先住所を登録していないなど、「申し込みの手引き」を明らかに守っていない大学が散見されたので、各大学の代表者には自覚を持ってこうした手引書を読んでいただきたいと思っております。

▼3.2.4 参加者への返金について

初めに、参加者への返金プロセスにおいて、参加者をお待たせしたこと、また少々混乱させてし

まったことについてお詫び申し上げます。

前者についてですが、事業者への支払いをどうするかなど考慮する必要のある問題が複数あり、会計を一定固めるまでに時間がかかりました。そのため返金が少々遅れてしまいました。後者についてですが、インカレの参加費は、基本参加費・選手権の部関係の登録費・宿泊輸送費といった各種費用の集合体であって、かなり複雑です。しかも返金となりますと、途中でキャンセルしていた方や不泊申請を行っていた方とのバランスなど、考えるべき点も多くなります。それら全体として整合性の取れるような返金額とさせていただいたつもりですが、参加者には分かりにくい計算方法となり、周知不足も相まって少々混乱を招いてしまいました。

改善策としては、まず、前節にも記載しましたが、各大学の代表者のメールアドレスや返金用口座を事前に確実に収集しておくことが挙げられます。次に、「大会運営報告」にも記載しましたが、事業者との業務委託契約において、本大会が中止となった時の対応を取り決めておくことが挙げられます。さらに、要項2の書き方を改善すること、つまり参加費の項目（個人所有のEカード使用により-500円との記述）や、不泊時の減額料金の項目（結局いくら払うのかが見えにくい）が分かりにくいので、書きぶりを変えることが挙げられます。以上、業務委託契約を除いては、中止となった大会以外においても意味があることと考えます。

一方、宿泊キャンセルや不泊等の変更履歴を担当者が正確に残していたため、返金がスムーズにいった側面もありました。

3.3 インカレ実施規則について

昨年インカレ実施規則1.4が改正され、インカレ実施規則の条項を不適用にする場合、「2か月前」までの理事会への申し出が義務付けられました。この条項がどのくらい厳格に適用されるものなのか、厳格に適用されるとすれば、どうしても直前に不適用にする必要のある条項が発生した場合に備えて例外規定を設ける必要が無いのかなど、気になるところです。本大会では、特段問題は発生しませんでした。問題提起させていただきます。

なお、インカレ実施規則はインカレ運営にとって大変重要ですので、実行委員会においては実行委員長や競技責任者を中心に内容を都度確認するとともに、日本学連におかれましては改正の話などが出ている場合は、活動中のインカレ実行委員会に状況を逐次共有いただくと幸いです（改正された規則は、日本学連のホームページにおいて早期に公開いただくようお願いいたします）。

3.4 おわりに

本大会は、ご存知の通り中止という結末に終わってしまったため、あまり汎用性の無い提言が多くなってしまったかもしれません。ただ、今後のインカレも、中止とまではいかずとも、トラブルに見舞われることはあるでしょう。また、新型コロナウイルスの流行は収束したわけではなく、予断を許さない状況です。この提言が活用される機会がやってくることを祈りつつも、将来への備えとして記させていただきます。

4 ミドル競技スタートリスト

4.1 選手権の部エントリーリスト

黄色塗りつぶしはシード選手、★印はGPSトラッキング対象者です。スタート時刻は開会式前に発表します。

ME (1/2)		参加人数61	
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
:	工藤 友喜	岩手大学2	510344
:	青芳 龍	東北大学4	228169
:	伊藤 光祐	東北大学4	228343
:	★北見 匠	東北大学4	レンタル
:	★長岡 凌生	東北大学4	228345
:	★金子 哲士	東北大学3	236043
:	★唐木 朋也	東北大学3	236041
:	嶋崎 渉	東北大学3	236139
:	園部 駿太	東北大学3	235937
:	★清水 嘉人	北海道大学2	506392
:	山本 哲也	金沢大学4	509781
:	外石 裕太郎	新潟大学4	509517
:	★清水 俊祐	慶應義塾大学4	231723
:	★桃井 陽佑	慶應義塾大学4	505094
:	渡辺 鷹志	慶應義塾大学4	502762
:	江野 弘太郎	慶應義塾大学3	505266
:	宮嶋 哲矢	千葉大学3	511166
:	★小牧 弘季	筑波大学3	レンタル
:	谷野 文史	筑波大学3	505190
:	名雪 青葉	筑波大学2	レンタル
:	村田 千真	筑波大学2	レンタル
:	祖父江 有祐	筑波大学1	レンタル
:	★大橋 陽樹	東京大学4	231445
:	★種市 雅也	東京大学4	231191
:	森川 周	東京大学3	196644
:	★椎名 晃丈	東京大学3	236023
:	根本 夏林	東京大学3	244768
:	★朝間 玲羽	東京大学2	244600
:	伊藤 元春	東京大学2	244606
:	西浦 裕	東京大学2	244656
:	本庄 祐一	東京大学1	251151
:	中嶋 律起	横浜国立大学3	505308
:	羽田 拓真	横浜国立大学1	510454
:	★長谷川 望	早稲田大学4	502197
:	★大石 洋輔	早稲田大学3	510609
:	池田 匠	早稲田大学2	502867
:	高見澤 翔一	一橋大学4	231082
:	櫻井 一樹	東京工業大学3	507480
:	小寺 義伸	東京工業大学3	507479
:	七五三 碧	茨城大学4	502302
:	豊田 健登	茨城大学3	239653
:	溝井 翔太	茨城大学2	506124
:	阿部 遼太郎	横浜市立大学2	507533
:	藤原 真吾	関東学院大学4	505095
:	★岩垣 和也	名古屋大学4	231643
:	川口 真司	名古屋大学4	231745
:	三浦 一将	名古屋大学4	232061
:	石川 創也	名古屋大学3	502497
:	住吉 将英	名古屋大学3	239000

MEエントリーリストは右上に続く

ME (2/2) 左下の続き			
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
:	片岡 佑太	大阪大学3	505105
:	★岩井 龍之介	京都大学4	502509
:	★大野 絢平	京都大学4	506243
:	★沖中 陽幸	京都大学4	レンタル
:	篠原 幹博	京都大学3	507511
:	古池 将樹	京都大学3	506234
:	太田 知也	京都大学3	506233
:	和佐田 祥太郎	京都大学2	245603
:	二俣 真	京都大学1	510495
:	★川島 聖也	神戸大学4	502182
:	山内 優太	広島大学3	レンタル
:	清水 慎太郎	広島大学3	レンタル

WE		参加人数32	
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
:	進藤 緑里	岩手大学3	504991
:	渡邊 裕子	岩手大学3	504993
:	菊池 美結	岩手大学2	245717
:	青代 香菜子	東北大学4	228280
:	★伊東 加織	東北大学4	レンタル
:	川又 美南	東北大学4	228292
:	★小林 祐子	東北大学3	236032
:	八木橋 まい	東北大学3	236132
:	菊地 美里	東北大学1	249305
:	井村 唯	新潟大学3	505205
:	長瀬 麻里子	お茶の水女子大学1	251256
:	岩崎 佑美	慶應義塾大学2	507531
:	小竹 佳穂	筑波大学4	レンタル
:	★増澤 すず	筑波大学4	507374
:	★宮本 和奏	筑波大学3	レンタル
:	片岡 茅悠	東京大学3	236159
:	清野 幸	横浜国立大学3	505263
:	★香取 瑞穂	立教大学3	236152
:	★世良 史佳	立教大学3	236153
:	★阿部 悠	実践女子大学2	244709
:	明神 紀子	聖心女子大学2	244654
:	高橋 利奈	日本女子大学4	502196
:	★小林 美咲	十文字女子大学4	231090
:	井上 千帆里	相模女子大学3	505315
:	中神 智香	静岡大学2	505255
:	河村 優花	名古屋大学4	231387
:	★伊部 琴美	名古屋大学3	502491
:	★出田 涼子	大阪大学4	502186
:	塚越 真悠子	大阪大学4	502181
:	山根 萌加	京都大学2	507413
:	★永山 尚佳	神戸大学2	507477
:	松本 萌恵	神戸大学1	510331

4.2 一般の部 (男子) スタートリスト

MA1 (1/2)			参加人数97
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
9:30	吉田 新史	大阪大学3	505107
9:31	中村 亮佑	名古屋大学2	507349
9:32	東 孝樹	北海道大学2	506390
9:33	星 歩夢	東北大学3	236026
9:34	望月 ヤマト	茨城大学4	502123
9:35	柏田 芳樹	一橋大学3	236017
9:36	戸澤 貴志	横浜国立大学4	502750
9:37	徳地 研人	京都大学3	506120
9:38	山下 政泰	新潟大学4	509513
9:39	大橋 遼	早稲田大学4	222750
9:40	村山 泰暉	千葉大学3	228338
9:41	橋本 大佳	福島大学2	210645
9:42	邊見 侑也	東北大学4	228243
9:43	大鶴 啓介	東京大学3	236021
9:44	山田 涼太	群馬大学2	510285
9:45	谷川 陸吏	大阪大学3	レンタル
9:46	本田 明良	静岡大学3	505256
9:47	伊藤 祐	筑波大学3	507371
9:48	比企野 純一	東京大学4	231227
9:49	濱崎 大暉	金沢大学2	509779
9:50	千葉 晃平	東北大学2	240616
9:51	飯田 泰史	東京大学4	231446
9:52	石渡 雄也	関東学院大学2	507406
9:53	河野 隼司	東京大学2	244655
9:54	山口 龍哉	千葉大学4	228340
9:55	押切 嶺於	東京農工大学3	239626
9:56	小林 哲郎	東北大学2	240424
9:57	常見 圭汰	新潟大学4	509518
9:58	金城 和志	大阪大学3	507495
9:59	伊藤 拓馬	東北大学3	236030
10:00	森下 晃成	静岡大学2	249338
10:01	土屋 祐太郎	京都大学3	507415
10:02	市川 礼偉	横浜市立大学2	507409
10:03	柴山 大侑	新潟大学3	502608
10:04	粟生 啓介	名古屋大学2	507355
10:05	高野 智也	東北大学3	236035
10:06	田中 大樹	東京工業大学2	507458
10:07	得能 渉	千葉大学3	511069
10:08	山本 洵哉	東京工業大学3	248852
10:09	高柳 知朗	筑波大学3	レンタル
10:10	坂本 慧	新潟大学2	236123
10:11	坪井 政樹	北海道大学2	506394
10:12	伊藤 頌太	慶應義塾大学2	507476
10:13	内海 瞭	早稲田大学4	502194
10:14	大串 裕也	千葉大学2	205257
10:15	林 俊充	岩手県立大学4	レンタル
10:16	西下 遼介	慶應義塾大学4	502499
10:17	大森 総司	名古屋大学3	239041
10:18	本多 一成	千葉大学3	240249
10:19	岩田 慈樹	京都大学2	507520
10:20	高橋 光太	東京工業大学3	507478
10:21	茶谷 知哉	名古屋大学4	231849
10:22	若松 甫	東京工業大学4	509460
10:23	大石 航輔	金沢大学2	509778
10:24	菅野 正太	福島大学3	レンタル
10:25	寺田 直加	東北大学2	240423

MA1スタートリストは右上に続く

MA1 (2/2) 左下の続き			
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
10:26	鈴木 琢也	横浜国立大学2	509456
10:27	石田 倫啓	京都大学2	245712
10:28	藤本 紘哉	北海道大学2	506498
10:29	森田 悠生	名古屋大学2	244536
10:30	荒井 純	東北大学3	236140
10:31	丸山 幸太	新潟大学2	236125
10:32	山田 基生	東北大学3	236135
10:33	角野 裕之	東京工業大学2	248855
10:34	上保 望	早稲田大学2	222753
10:35	二瓶 勢真	金沢大学4	509883
10:36	久田 雄介	北海道大学2	レンタル
10:37	高見 和希	大阪大学2	507460
10:38	水田 達也	東北大学4	228174
10:39	柿沼 晴喜	筑波大学3	レンタル
10:40	安齋 音哉	東京農工大学2	239522
10:41	長南 光紀	福島大学2	レンタル
10:42	山田 雄太	名古屋大学2	507383
10:43	矢田 祐喜	静岡大学2	505345
10:44	薄井 聡汰	中央大学2	244607
10:45	竹花 佳祐	東北大学3	240489
10:46	倉元 康太	東京農工大学2	239623
10:47	長山 真也	金沢工業大学3	196653
10:48	原 柊斗	岩手大学2	レンタル
10:49	片桐 悟	静岡大学4	レンタル
10:50	古屋 洸	東北大学4	228241
10:51	吉田 涼哉	金沢大学4	509884
10:52	vacant		
10:53	池田 大悟	早稲田大学4	502613
10:54	富田 智司	新潟大学4	509516
10:55	小林 亮太	岩手県立大学3	504994
10:56	豊永 雄郎	京都大学3	レンタル
10:57	加藤 千晴	東北大学2	240454
10:58	澤田 陸	名古屋大学4	231627
10:59	小田隼士	東京農工大学2	239524
11:00	高野陽平	神戸大学3	507592
11:01	中村僚佑	岩手大学2	245716
11:02	野沢星雅	茨城大学3	239640
11:03	若月俊宏	東京工業大学2	509625
11:04	藤原悠平	東京大学2	244653
11:05	高橋友徳	岩手医科大学2	183069
11:06	新井宇宙	早稲田大学2	507425
11:07	井坂将隆	東北大学2	240425

MA2 (1/3)			参加人数98
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
9:30	伊藤 隼太郎	東京農工大学2	239525
9:31	岩淵 悠太	新潟大学2	505208
9:32	久米 悠介	東北大学4	231592
9:33	大野 陽広	岩手大学2	レンタル
9:34	篠崎 崇智	東北大学3	236148
9:35	藤永 拓	静岡大学3	レンタル
9:36	富沢 隆成	群馬大学2	510284
9:37	竹下 晴山	茨城大学2	506230
9:38	浜野 有都	東北大学2	240455
9:39	石山 元喜	北海道大学3	レンタル

MA2スタートリストは次ページに続く

MA2 (2/3) 前ページの続き			
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
9:40	高橋 駿	東北大学4	228294
9:41	谷平 光一	名古屋大学3	238897
9:42	濱崎 誠士	大阪大学3	504983
9:43	豊澤 義文	東京工業大学3	248897
9:44	石崎 建	金沢大学3	509879
9:45	伊藤 良介	京都大学2	507411
9:46	飯田 司	東北大学3	236029
9:47	菅沼 友仁	茨城大学3	239639
9:48	小池 椋介	京都大学4	506228
9:49	中村 諒	早稲田大学2	507430
9:50	津田 悠暉	横浜国立大学2	240505
9:51	三瀬 遼太郎	早稲田大学4	502198
9:52	渡邊 駿太	新潟大学4	509511
9:53	到津 春樹	茨城大学3	239641
9:54	萱尾 澄人	大阪大学2	507506
9:55	池田 京史	千葉大学4	240250
9:56	中田 成央	東京農工大学2	239518
9:57	山根 正太郎	慶應義塾大学2	510557
9:58	谷口 恵祐	東北大学4	228188
9:59	野澤 優斗	東北大学2	506396
10:00	内山 悠真	筑波大学4	レンタル
10:01	杉本 舜	大阪大学4	502179
10:02	加藤 翔伍	静岡大学3	509871
10:03	橋本 勇士	千葉大学3	210478
10:04	田淵 ヒカル	慶應義塾大学2	507743
10:05	松井 泰道	早稲田大学2	510591
10:06	松本 陸	岩手大学4	504987
10:07	石渡 望	東北大学3	236039
10:08	鈴木 京佑	横浜市立大学3	505264
10:09	小高 敦志	岩手大学2	245715
10:10	大場 隆太郎	東京工業大学2	509768
10:11	鈴木 陽介	福島大学4	レンタル
10:12	青木 航流	東京工業大学2	509769
10:13	武田 剛	福島大学2	210685
10:14	菅原 晨太郎	東北大学4	228172
10:15	芦本 陸	名古屋大学4	231753
10:16	熊木 智哉	東京大学2	244603
10:17	小枝 幹汰	新潟大学2	236124
10:18	野口 晃太郎	北海道大学2	506395
10:19	菅野 裕貴	横浜市立大学3	505267
10:20	脇田 晃秀	名古屋大学2	507350
10:21	古関 駿介	東北大学2	240422
10:22	伊藤 拓登	静岡大学3	505257
10:23	土屋 輝	関東学院大学2	509457
10:24	村中 結希	京都大学2	レンタル
10:25	高橋 英人	一橋大学3	レンタル
10:26	松本 諒	福島大学3	210901
10:27	松嶋 亮弥	東京大学2	244659
10:28	前川 光鷹	東京理科大学2	507427
10:29	浅田 雄一	名古屋大学2	507351
10:30	今野 陽一	東北大学2	240420
10:31	石田 晴輝	東京大学4	231456
10:32	鈴木 啓耀	静岡大学2	220287
10:33	藤本 拓也	京都大学4	502511
10:34	生田 峻	関東学院大学3	240621
10:35	西平 楽	東北大学3	236042
10:36	大野 弘人	北海道大学4	レンタル
10:37	伊藤 高真	東京大学2	250409

MA2スタートリストは右上に続く

MA2 (3/3) 左下の続き			
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
10:38	長谷川 野	岩手県立大学3	245609
10:39	浴 歩輝	東京工業大学3	248853
10:40	高本 章寛	筑波大学4	レンタル
10:41	岡田 怜真	東京工業大学4	509870
10:42	木本 琢登	早稲田大学2	502506
10:43	箕浦 皓	京都大学2	レンタル
10:44	清水 有希	金沢大学3	509881
10:45	京屋 陽介	名古屋大学2	507354
10:46	池田 直樹	東京大学3	236020
10:47	藤井 一樹	名古屋工業大学2	507384
10:48	山田 峻大	東北大学2	240595
10:49	山田 光輝	横浜国立大学4	505093
10:50	笠井 虹汰	千葉大学2	240110
10:51	種澤 遼太郎	東北大学4	228171
10:52	池田 順一	神戸大学4	502300
10:53	佐藤 太一	新潟大学3	502609
10:54	宮川 靖弥	東京工業大学2	507471
10:55	金津 怜央奈	名古屋大学4	231668
10:56	水流 尚樹	千葉大学3	240111
10:57	小林 尚暉	東京大学2	244661
10:58	伊地知 淳	千葉大学2	511067
10:59	石田 大地	新潟大学4	245618
11:00	小野 裕登	東京農工大学4	239632
11:01	五十嵐 央人	金沢大学3	509878
11:02	大山 智弘	筑波大学2	レンタル
11:03	窪田 信司	大阪大学3	505106
11:04	三浦 開登	東京工業大学3	509771
11:05	森 倭渡	北海道大学2	506499
11:06	小池 剛大	東京農工大学3	239627
11:07	長谷川 拓海	新潟大学3	245727

MA3 (1/3)		参加人数96	
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
9:30	vacant		
9:31	保苺 優	東北大学3	236044
9:32	茂原 瑞基	慶應義塾大学4	233556
9:33	櫻木 高斗	東京工業大学3	507472
9:34	棚橋 一樹	名古屋大学3	502496
9:35	森田 邦夫	静岡大学2	248968
9:36	熊谷 新吉	岩手大学4	レンタル
9:37	安部 智晴	名古屋大学3	239002
9:38	佐藤 世帆	岩手大学4	232066
9:39	桐山 大輝	東京農工大学2	239517
9:40	室谷 拓治	東北大学4	228277
9:41	荒川 悠人	東京農工大学2	239526
9:42	斎藤 滉弥	東北大学4	228242
9:43	竹内 佑輔	大阪大学4	レンタル
9:44	小林 伸次	東北大学2	240417
9:45	小俣 敦宏	名古屋工業大学2	507390
9:46	板橋 侑樹	東京農工大学3	239624
9:47	田中 駿行	大阪大学4	502294
9:48	倉田 瞭一	東京工業大学2	509520
9:49	瀬田 龍之介	金沢大学3	509882
9:50	倉地 草太	北海道大学3	506391
9:51	滝沢 壮太	新潟大学3	502606
9:52	奥田 陸	千葉大学4	228337

MA3スタートリストは次ページに続く

MA3 (2/3) 前ページの続き			
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
9:53	龍溪 優希	京都大学2	レンタル
9:54	石田 尚大	岩手大学4	231711
9:55	森山 凌佑	千葉大学3	511059
9:56	瓜生 侑	東京工業大学2	248899
9:57	小川 一真	早稲田大学3	502493
9:58	大槻 賢二郎	東北大学2	240523
9:59	南 吏玖	名古屋大学3	502490
10:00	丸山 ゆう	京都大学3	506242
10:01	山本 智士	名古屋大学4	232002
10:02	曲田 貴大	新潟大学2	レンタル
10:03	桑山 倫博	静岡大学4	248970
10:04	上山 大和	岩手県立大学2	レンタル
10:05	森田 夏水	早稲田大学4	510358
10:06	後藤 幸大	東京大学4	231462
10:07	三好 将史	早稲田大学4	502297
10:08	鈴木 大喜	筑波大学4	レンタル
10:09	加藤 寛之	新潟大学2	505207
10:10	田尻 佳大	東北大学2	240419
10:11	室井 葉介	横浜市立大学2	239291
10:12	虎走 脩平	静岡大学4	レンタル
10:13	阿部 冬星	東京大学2	244763
10:14	後藤 和樹	一橋大学4	231455
10:15	石田 健太郎	早稲田大学3	502599
10:16	林 昇吾	関東学院大学2	507410
10:17	尾山 直駿	東京工業大学4	507405
10:18	上村 太城	慶應義塾大学4	502751
10:19	竹重 拓輝	大阪大学2	507507
10:20	高橋 直道	東北大学2	240524
10:21	高野橋 侑大	福島大学4	レンタル
10:22	笹部 龍仁	京都大学2	レンタル
10:23	島崎 誠也	東北大学4	228244
10:24	西田 直人	茨城大学2	506118
10:25	松本 明訓	東京大学3	244657
10:26	今松 亮太	大阪大学4	502185
10:27	石森 晃	東北大学3	235833
10:28	速水 駿	名古屋大学2	507352
10:29	岡本 哲史	京都大学2	245605
10:30	森谷 恵吾	北海道大学2	506500
10:31	近藤 光	金沢大学2	509777
10:32	白旗 洸太	北海道大学3	レンタル
10:33	枝澤 勇太	京都大学2	レンタル
10:34	桃本 一輝	大阪大学3	504982
10:35	山田 徹	金沢工業大学3	196654
10:36	鈴木 皓紀	新潟大学3	502607
10:37	伊藤 颯	東京大学2	244765
10:38	山崎 星雅	京都大学3	506244
10:39	湯浅 博晶	北海道大学4	レンタル
10:40	村田 温基	東北大学2	240564
10:41	藤井 悠輝	名古屋大学2	507346
10:42	佐藤 健斗	横浜国立大学3	505212
10:43	磯邊 岳昇	千葉大学3	210553
10:44	田中 琉偉	法政大学2	244602
10:45	寺本 昌由	茨城大学3	レンタル
10:46	丹治 洸太郎	福島大学4	レンタル
10:47	和田 佳丈	静岡大学2	248967
10:48	坂本 健悟	東北大学3	236038
10:49	岩佐 一大	千葉大学3	506389
10:50	鳥居 洸太	東北大学4	228187

MA3スタートリストは右上に続く

MA3 (3/3) 左下の続き			
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
10:51	吉田 輝	新潟大学4	509512
10:52	小林 俊介	東北大学2	240593
10:53	豊田 俊哉	神戸大学2	507593
10:54	木下 達仁	一橋大学4	250372
10:55	岡田 翔太	千葉大学4	511061
10:56	稲島 一真	金沢大学3	509880
10:57	佐藤 公洋	東京大学4	231400
10:58	秋元 郁	早稲田大学2	507429
10:59	野村 峻太	北海道大学2	506397
11:00	有澤 達哉	東京大学2	244703
11:01	吉川 隆晃	福島大学4	レンタル
11:02	金田 蓮	新潟大学4	509519
11:03	藤谷 慶一郎	東京工業大学2	507510
11:04	後庵野 大輔	東北大学2	240613
11:05	森 恒大	筑波大学2	レンタル
11:06	津田 卓磨	横浜国立大学3	505311

MB		参加人数34	
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
10:50	田牧 将馬	名古屋大学3	239014
10:51	福田 拓亮	東京工業大学2	509869
10:52	出口 智士	名古屋大学4	231869
10:53	石橋 諒	大阪大学3	レンタル
10:54	相馬 健太	名古屋大学3	238896
10:55	柘本 仁	金沢工業大学2	196656
10:56	杉浦 智樹	名古屋大学4	231662
10:57	伊藤 有哉	東京工業大学2	507509
10:58	新家 康弘	名古屋大学2	245025
10:59	瀧井 健介	東京工業大学2	509867
11:00	前川 泰吉	名古屋大学2	244539
11:01	高木 温希	金沢工業大学2	196655
11:02	鈴木 康照	名古屋大学4	231828
11:03	岡野 幹生	東京工業大学2	509770
11:04	脇 慎一郎	名古屋大学4	231945
11:05	内田 和志	大阪大学4	232416
11:06	八木 勇亮	名古屋大学3	502498
11:07	細川 敦司	静岡大学2	レンタル
11:08	松村 祐輝	名古屋大学2	507353
11:09	川原 明洋	東京工業大学2	248896
11:10	天野 克則	名古屋大学3	208161
11:11	大城 蓮	東京工業大学2	507474
11:12	棟方 隆司	名古屋大学3	238895
11:13	山田 大雅	中央大学3	レンタル
11:14	池田 旭	名古屋大学2	245060
11:15	田口 滉一	東京工業大学4	507454
11:16	村上 淳哉	名古屋大学3	239040
11:17	佐久間 亮	東京工業大学2	507473
11:18	杉浦 航	名古屋大学2	507381
11:19	八重樫 篤矢	東北大学4	228189
11:20	井上 祐人	名古屋大学3	239043
11:21	龍堀 巧	東北大学3	236151
11:22	飯田 晟樹	名古屋大学3	231844
11:23	海老原 稜大	一橋大学4	244599

MF1 (1/2) 参加人数75			
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
9:30	碓井 玲	横浜国立大学1	251936
9:31	清水 史	早稲田大学1	510605
9:32	佐藤 珠有	茨城大学1	509864
9:33	牧島 滉平	広島大学1	レンタル
9:34	阿保 匠真	東北大学1	レンタル
9:35	用松 知樹	慶應義塾大学1	510559
9:36	内藤 駿	名古屋工業大学1	509875
9:37	道坂 怜生	大阪大学1	210000
9:38	市川 知幸	名古屋工業大学1	509873
9:39	八木 恵大	関東学院大学1	240611
9:40	澤田 直志	早稲田大学1	510594
9:41	井土 宙	静岡大学1	レンタル
9:42	大川 将司	横浜国立大学1	240610
9:43	岩本 圭司	名古屋工業大学1	509874
9:44	川原 蒼	北海道大学1	レンタル
9:45	萩原 宏哉	東北大学1	249317
9:46	浴本 悠貴	神戸大学1	510599
9:47	葛西 裕樹	東北大学1	249302
9:48	吉田 玄	千葉大学1	204892
9:49	富安 運	北海道大学1	250419
9:50	楊泓 志	横浜国立大学1	510452
9:51	疋田 雅裕	静岡大学1	レンタル
9:52	今 翔太	新潟大学1	222822
9:53	藤澤 達也	東京大学1	251150
9:54	河野 弘士	東京工業大学1	507365
9:55	吉川 辰也	名古屋大学1	251169
9:56	衣笠 匠斗	東京大学1	251010
9:57	網 優希	早稲田大学1	510507
9:58	吉仲 瑞貴	京都大学1	レンタル
9:59	牧野 隼也	東京大学1	レンタル
10:00	山崎 嘉津人	東京工業大学1	501744
10:01	根岸 龍宏	筑波大学1	レンタル
10:02	櫻井 千尋	名古屋大学1	510244
10:03	嶋崎 彰人	関東学院大学1	251474
10:04	西原 大貴	東北大学1	249314
10:05	鈴木 遼賀	岩手大学1	251267
10:06	松本 皐佑	名古屋大学1	510239
10:07	佐藤 隆	東京工業大学1	507369
10:08	小池 翔馬	金沢大学1	509775
10:09	平岩 伊武季	筑波大学1	レンタル
10:10	伊藤 寛之	名古屋大学1	251271
10:11	熊谷 孝志	群馬大学1	レンタル
10:12	平岡 丈	京都大学1	510640
10:13	大友 秀太	東京工業大学1	507367
10:14	増井 貴登	東京理科大学1	510610
10:15	星 彩斗	福島大学1	210422
10:16	渡邊 真太郎	慶應義塾大学1	251935
10:17	入江 龍成	早稲田大学1	510500
10:18	高木 一人	北海道大学1	250417
10:19	永山 遼真	筑波大学1	レンタル
10:20	中島 怜士	東京農工大学1	レンタル
10:21	仲長 航	一橋大学1	250512
10:22	末満 寛太	北海道大学1	220428
10:23	河野 駿介	静岡大学1	レンタル
10:24	山口 敦也	新潟大学1	222820
10:25	脇田 耀介	東京大学1	251153
10:26	松原 佑季	一橋大学1	250513

MF1スタートリストは次ページに続く

MF1 (2/2) 左下の続き			
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
10:27	鈴村 祐也	岩手大学1	レンタル
10:28	板垣 星哉	慶應義塾大学1	251487
10:29	小森 直人	芝浦工業大学1	251154
10:30	竹安 宏曜	東京大学1	レンタル
10:31	黒柳 大翔	静岡大学1	レンタル
10:32	有川 泰平	新潟大学1	レンタル
10:33	石井 洋一郎	東京大学1	250514
10:34	久保田 晴貴	静岡大学1	220393
10:35	杉村 天	神戸大学1	510443
10:36	鈴木 璃士	筑波大学1	レンタル
10:37	細野 裕	群馬大学1	レンタル
10:38	川西 翔貴	東北大学1	249304
10:39	古川 貴也	京都大学1	510642
10:40	岡田 航太郎	東京理科大学1	510501
10:41	佐野 良我	慶應義塾大学1	510556
10:42	桑山 陽次	東北大学1	249308
10:43	烏野 祐作	東京大学1	251009
10:44	宮口 祐誠	京都大学1	レンタル

MF2 (1/2) 参加人数73			
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
9:30	若林 海人	新潟大学1	レンタル
9:31	栗山 朋大	横浜国立大学1	510453
9:32	鈴木 海斗	名古屋大学1	510247
9:33	下鳥 翔平	東京農工大学1	レンタル
9:34	塚田 一希	京都大学1	レンタル
9:35	中野 海斗	神戸大学1	510552
9:36	高松 暉	筑波大学1	レンタル
9:37	大西 肇	北海道大学1	レンタル
9:38	波根 竣介	東北大学1	249318
9:39	根本 啓介	筑波大学1	レンタル
9:40	佐藤 佑亮	東京大学1	251012
9:41	森 隆志	名古屋工業大学1	251274
9:42	川崎 拓巴	東京理科大学1	510611
9:43	村石 優太	関東学院大学1	251473
9:44	信原 颯斗	岩手大学1	232728
9:45	市川 幸杜	早稲田大学1	510503
9:46	舟木 大河	東北大学1	249321
9:47	名和 龍太郎	慶應義塾大学1	251489
9:48	八景 勇樹	福島大学1	210594
9:49	服部 柁宏	名古屋工業大学1	251273
9:50	星川 正太郎	東北大学1	249323
9:51	青島 光太郎	筑波大学1	レンタル
9:52	立松 空	早稲田大学1	510497
9:53	菅波 崇志	筑波大学1	レンタル
9:54	仙田山 慧大	北海道大学1	レンタル
9:55	高木 大誠	金沢大学1	509776
9:56	相馬 哲兵	東京大学1	251117
9:57	田頭 樹	慶應義塾大学1	511057
9:58	木村 詠吉	東京工業大学1	507368
9:59	齋藤 佳大	東京大学1	251011
10:00	村井 智哉	東北大学1	249324
10:01	佐藤 葵	横浜国立大学1	252034
10:02	小川 誠人	静岡大学1	レンタル
10:03	谷口 瞬生	大阪大学1	510491
10:04	向井 悠真	京都大学1	510485

MF2スタートリストは次ページに続く

MF2 (2/2) 前ページの続き			
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
10:05	木村 宇快	東京工業大学1	507370
10:06	浅野 智輝	金沢大学1	509772
10:07	藤澤 廉	東北大学1	249320
10:08	佐藤 一誠	茨城大学1	509762
10:09	井上 匠梧	京都大学1	510643
10:10	松井 俊樹	静岡大学1	220395
10:11	竹市 葵	群馬大学1	510286
10:12	倉本 輝	静岡大学1	レンタル
10:13	森川 輔	千葉大学1	205080
10:14	vacant		
10:15	植西 柳太	新潟大学1	222880
10:16	小野塚 康利	東京大学1	レンタル
10:17	川端 将也	大阪大学1	510493
10:18	上田 皓一郎	立命館大学1	510659
10:19	藤田 翔伍	東京農工大学1	レンタル
10:20	野上 世蓮	横浜国立大学1	511058
10:21	犬山 瑛斗	北海道大学1	250418
10:22	宮岡 竜也	早稲田大学1	510502
10:23	中野 佑太郎	新潟大学1	222821
10:24	長井 翔太郎	京都大学1	510641
10:25	稲毛 隆太	東北大学1	249299
10:26	豊島 琉成	関東学院大学1	251478
10:27	大西 諒哉	千葉大学1	205078
10:28	近藤 陽介	静岡大学1	220320
10:29	塚田 翔太	東京工業大学1	507362
10:30	田中 郁也	名古屋大学1	251114
10:31	根岸 健仁	一橋大学1	210117
10:32	中林 優樹	慶應義塾大学1	251476
10:33	野田 聡	東京工業大学1	507363
10:34	岩崎 雄也	名古屋大学1	251160
10:35	吉原 慧	東京大学1	レンタル
10:36	齋藤 俊輔	岩手大学1	レンタル
10:37	坂野 公紀	静岡大学1	レンタル
10:38	武田 信悟	北海道大学1	レンタル
10:39	宗安 慧悟	東京大学1	251152
10:40	堀内 颯介	茨城大学1	509757
10:41	椿原 暖人	名古屋大学1	251166
10:42	古長 慎也	早稲田大学1	510505
10:43	イルマズ 恵明	京都大学1	レンタル

4.3 一般の部 (女子) スタートリスト

WA (1/2)		参加人数93	
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
9:30	藤田 奈津美	奈良女子大学2	510598
9:31	酒井 舞子	京都女子大学2	507518
9:32	越智 純香	京都大学2	506121
9:33	石坪 夕奈	東京農工大学4	239631
9:34	田村 一紗	横浜市立大学3	505310
9:35	上原 珠美	京都女子大学2	507519
9:36	池ヶ谷 みのり	一橋大学2	244595
9:37	野村 麻奈	相模女子大学4	205195
9:38	小橋 唯華	京都女子大学2	507517
9:39	vacant		
9:40	楊 馨逸	早稲田大学3	502507
9:41	高瀬 優衣	金沢大学4	509885
9:42	秋山 美怜	早稲田大学3	507428
9:43	原 悠里花	フェリス女学院大学2	509564
9:44	木村 瑠月	東北大学3	235940
9:45	刈谷 まりい	椋山女学園大学3	239005
9:46	塚田 恵理	跡見女子大学4	231444
9:47	松本 環	早稲田大学2	507423
9:48	稲邊 穂乃香	東京農工大学3	239625
9:49	金子 詩乃	日本女子大学3	502596
9:50	中野 真優	椋山女学園大学3	239146
9:51	井上 希美	金沢大学2	509780
9:52	保木 祥声	津田塾大学3	236056
9:53	明田 彩里	椋山女学園大学2	244528
9:54	諏訪 夏海	東北大学4	228291
9:55	富山 詩央里	実践女子大学2	244660
9:56	多田 明加	金沢大学2	509773
9:57	小笠原 萌	奈良女子大学3	510553
9:58	安藤 瑠乃	椋山女学園大学3	239003
9:59	三浦 快嶺	福島大学3	210993
10:00	大西 桜子	奈良女子大学4	228225
10:01	山賀 千尋	大阪大学2	510447
10:02	杉山 桃菜	十文字女子大学3	250407
10:03	鈴木 日菜	実践女子大学2	244759
10:04	菅原 真優	日本女子大学3	502595
10:05	渡辺 楓華	金沢大学2	509877
10:06	志村 紫保	東京大学2	244700
10:07	藤平 歩	実践女子大学3	236053
10:08	長濱 夏緒里	新潟大学4	505210
10:09	近藤 あゆみ	奈良女子大学4	510337
10:10	臼井 千尋	東京工業大学2	507475
10:11	Vacant		
10:12	栗本 美緒	津田塾大学3	236055
10:13	小林 璃衣紗	津田塾大学2	251925
10:14	大須賀 ほの	若手県立大学2	245611
10:15	山崎 璃果	椋山女学園大学2	245057
10:16	松澤 京加	津田塾大学2	244712
10:17	佐藤 珠穂	法政大学3	236054
10:18	和波 明日香	椋山女学園大学3	239149
10:19	佐藤 汐子	宮城学院女子大学3	236143
10:20	田原 真綺	実践女子大学4	231200
10:21	vacant		
10:22	河野 珠里亜	新潟大学3	505204
10:23	菅原 衣織	東京農工大学4	240514
10:24	橋本 花恵	茨城大学3	239643
10:25	金井悠	相模女子大学2	507513

WAスタートリストは右上に続く

WA (2/2) 左下の続き			
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
10:26	加藤 千遥	横浜市立大学2	507407
10:27	神戸 麻衣	新潟大学3	505203
10:28	渡辺 紀保	早稲田大学2	510608
10:29	木本 円花	北海道大学4	レンタル
10:30	久住 結香	東北大学3	236134
10:31	高橋 志穂	岩手大学2	245608
10:32	西谷 彩奈	東京理科大学3	502492
10:33	中村 咲野	立教大学2	244707
10:34	五十嵐 羽奏	名古屋大学2	244542
10:35	富永 万由	早稲田大学3	507512
10:36	土田 千聖	名古屋大学2	244546
10:37	vacant		
10:38	湯上 麻貴	北海道大学4	506501
10:39	余語 文香	椋山女学園大学2	244531
10:40	加藤 小雪	フェリス女学院大学2	251472
10:41	角谷 侑香	京都女子大学3	505104
10:42	赤堀 美帆	関東学院大学2	509565
10:43	深田 愛理	新潟大学3	245619
10:44	鈴木 咲希	千葉大学4	511060
10:45	杉浦 凜	椋山女学園大学2	245056
10:46	山内 美輝	新潟大学4	509514
10:47	坂間 みく	相模女子大学2	205097
10:48	藤澤 はる那	京都女子大学3	505006
10:49	松田 千果	横浜市立大学3	505211
10:50	藤岡 奈々	京都女子大学3	507516
10:51	須本 みずほ	椋山女学園大学2	245058
10:52	矢作 香織	慶應義塾大学2	507515
10:53	杉山 真理	相模女子大学4	204682
10:54	阿部 朱莉	東京理科大学2	510613
10:55	大栗 由希	茨城大学2	506123
10:56	藤井 明日香	関東学院大学2	507744
10:57	木越 綾香	群馬大学3	レンタル
10:58	久野 公愛	日本女子大学4	502195
10:59	砥石 真奈	東京農工大学2	239523
11:00	佐藤 光	相模女子大学2	204675
11:01	里見 穂	早稲田大学2	507424
11:02	中村 沙耶	椋山女学園大学3	239115
11:03	篠塚 みずき	横浜市立大学4	502501
11:04	滝澤 伊織	新潟大学2	505209
11:05	山本 優海	実践女子大学4	239121
11:06	鈴木 春音	名古屋大学2	507347

WB (1/2)		参加人数19	
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
10:45	柴山 奈穂	椋山女学園大学2	244543
10:46	昆沙賀 菜々子	東北大学3	236133
10:47	平田 沙弥	奈良女子大学3	228224
10:48	白土 睦	宮城学院女子大学3	236145
10:49	吉居 育美	奈良女子大学2	510597
10:50	中村 莉子	宮城学院女子大学2	240594
10:51	小林 結菜	十文字女子大学4	231192
10:52	増田 雅子	京都女子大学3	505103
10:53	高倉 玲衣	宮城学院女子大学2	240418
10:54	山口 慈	奈良女子大学2	228223
10:55	浪川 有紗	千葉大学4	210635

WBスタートリストは次ページに続く

WB (2/2) 前ページの続き			
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
10:56	渡我部 ゆき	名古屋大学3	231864
10:57	市野 夢衣	奈良女子大学2	510563
10:58	飯塚 叶恵	東京工業大学2	507457
10:59	清水 桃奈	東北大学3	236014
11:00	市川 真優花	宮城学院女子大学3	236015
11:01	植村 日向	椛山女学園大学2	244529
11:02	門松 歩美	立教大学2	244704
11:03	佐藤 可菜	宮城学院女子大学3	236146

WF (1/2) 参加人数72			
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
9:30	溝渕 賀子	神戸大学1	510561
9:31	杉浦 野乃子	椛山女学園大学1	510349
9:32	福井 真紘	関東学院大学1	251479
9:33	九津見 梓紗	十文字女子大学1	レンタル
9:34	高野 玲奈	横浜市立大学1	510458
9:35	松浦 千尋	金沢大学1	509774
9:36	久保田 愛	日本女子大学1	510607
9:37	萱園 明	津田塾大学1	レンタル
9:38	佐々木 花衣	茨城大学1	509766
9:39	熊谷 歩香	宮城学院女子大学1	248850
9:40	吉永 紗弥香	法政大学1	レンタル
9:41	遠藤 めい	新潟大学1	222824
9:42	藤井 春菜	北海道大学1	レンタル
9:43	上島 じゅ菜	お茶の水女子大学1	251255
9:44	小久保 茉優	立命館大学1	レンタル
9:45	池田 夏希	日本女子大学1	510506
9:46	村上 碧澄香	宮城学院女子大学1	249263
9:47	金澤 優衣	新潟大学1	222823
9:48	宇佐美 綾野	宮城学院女子大学1	248849
9:49	崎原 美咲紀	千葉大学1	204946
9:50	山田 光莉	新潟大学1	222818
9:51	大塚 彩加	北海道大学1	レンタル
9:52	藤井 明依	茨城大学1	レンタル
9:53	泉山 実和奈	神戸大学1	510551
9:54	工藤 藍花	十文字女子大学1	レンタル
9:55	高橋 茉莉奈	大阪大学1	510490
9:56	吉田 菜々子	東京理科大学1	510612
9:57	林 咲友	神戸大学1	510441
9:58	尾串 夏希	横浜国立大学1	240506
9:59	久米 明日香	神戸大学1	510332
10:00	多田 綾乃	新潟大学1	505206
10:01	今井 里奈	椛山女学園大学1	510350
10:02	平田 真夕	東京農工大学1	レンタル
10:03	坂巻 朱里	十文字女子大学1	251261
10:04	矢倉 美励	千葉大学1	205056
10:05	栗山 ももこ	横浜市立大学1	510449
10:06	住谷 遥夏	日本女子大学1	510498
10:07	米内 望	岩手大学1	レンタル
10:08	仲田 有沙	実践女子大学1	251258
10:09	佐々木 咲	津田塾大学1	レンタル
10:10	大木 美穂	横浜市立大学1	252033
10:11	榎戸 麻衣	日本女子大学1	510508
10:12	佐藤 隆奈	筑波大学1	レンタル
10:13	橘 咲葵	慶應義塾大学1	251471

WFスタートリストは右上に続く

WF (2/2) 左下の続き			
スタート時刻	氏名	学校・学年	e-card番号
10:14	松本 芽依	横浜市立大学1	510455
10:15	初野 春菜	実践女子大学1	レンタル
10:16	三上 夏生	横浜国立大学1	510558
10:17	原田 友利香	岩手大学1	レンタル
10:18	中井 愛実	奈良女子大学1	510562
10:19	塚本 理紗子	横浜国立大学1	511066
10:20	中川 和音	日本女子大学1	510509
10:21	毛利 真子	茨城大学1	レンタル
10:22	田中 恵子	相模女子大学1	510457
10:23	加藤 涼子	慶應義塾大学1	510456
10:24	水上 玲奈	東北大学1	239520
10:25	奥野 未依菜	津田塾大学1	レンタル
10:26	駒崎 成美	神戸大学1	510496
10:27	近藤 花保	名古屋大学1	510352
10:28	藤中 美波	日本女子大学1	510590
10:29	重岡 慧実	京都大学1	レンタル
10:30	坂根 歩実	実践女子大学1	251257
10:31	石黒 麻柚菜	日本女子大学1	510504
10:32	山本 小百合	茨城大学1	レンタル
10:33	坪内 みのり	椛山女学園大学1	510251
10:34	中司 碧	東京工業大学1	507361
10:35	島崎 はるか	茨城大学1	509759
10:36	猪股 紗如	千葉大学1	205081
10:37	金 成美	相模女子大学1	251937
10:38	武石 瑞季	岩手大学1	250375
10:39	太田 伊代香	北海道大学1	レンタル
10:40	松浦 早希子	東京農工大学1	レンタル
10:41	森江 奈々子	京都女子大学1	507527

5

リレー競技チーム番号リスト

5.1 選手権の部

・★印はGPSトラッキング対象大学です。

▼ME (31チーム)

<前回大会完走順>

- 1 ★東京大学
- 2 ★慶應義塾大学
- 3 横浜国立大学
- 4 ★東北大学
- 5 ★名古屋大学
- 6 ★京都大学
- 7 新潟大学
- 8 ★筑波大学
- 9 ★東京工業大学
- 10 東京農工大学
- 11 一橋大学
- 12 茨城大学
- 13 大阪大学
- 14 北海道大学
- 15 金沢大学
- 16 静岡大学
- 17 横浜市立大学
- 18 岩手大学
- 19 広島大学
- 20 神戸大学
- 21 福島大学
- 22 関東学院大学
- 23 岩手県立大学

<以下、学校コード順>

- 31 金沢工業大学
- 32 千葉大学
- 33 東京理科大学
- 34 ★早稲田大学
- 35 群馬大学
- 36 名古屋工業大学

<以下、申請順>

- 40 法政大学・芝浦工業大学・
岩手医科大学混成
- 41 中央大学・立命館大学混成

▼WE (32チーム)

<前回大会完走順>

- 51 ★筑波大学
- 52 ★東北大学
- 53 ★立教大学
- 54 千葉大学
- 55 ★茨城大学
- 56 横浜市立大学
- 57 東京農工大学
- 58 実践女子大学
- 59 日本女子大学
- 60 ★名古屋大学
- 61 ★岩手大学
- 62 大阪大学
- 63 早稲田大学
- 64 京都女子大学
- 65 奈良女子大学
- 66 慶應義塾大学
- 67 横浜国立大学
- 68 新潟大学
- 69 宮城学院女子大学
- 70 金沢大学
- 71 相模女子大学
- 72 北海道大学
- 73 ★椛山女学園大学
- 74 静岡大学

<以下、学校コード順>

- 81 東京理科大学
- 82 津田塾大学
- 83 関東学院大学
- 84 京都大学
- 85 神戸大学

<以下、申請順>

- 91 跡見学園女子大学・法政大学混成
- 92 青山学院大学・お茶の水女子大学混成
- 93 聖心女子大学・東京大学混成

5.2 一般の部

▼MAR

学校名	チーム名	チーム番号
岩手大学	MA~MB	101~102
東北大学	MA~MN	103~116
北海道大学	MA~MF	117~122
福島大学	MA~MB	123~124
金沢大学	MA~MC	125~127
新潟大学	MA~MF	128~133
慶應義塾大学	MA~MD	134~137
千葉大学	MA~ME	138~142
筑波大学	MA~MF	143~148
東京大学	MA~ML	149~160
東京農工大学	MA	161
横浜国立大学	MA~MD	162~165
早稲田大学	MA~MG	166~172
一橋大学	MA	173
東京工業大学	MA~MK	174~184
茨城大学	MA~MC	185~187
関東学院大学	MA~MB	188~189
静岡大学	MA~MF	190~195
名古屋大学	MA~MM	196~208
名古屋工業大学	MA	209
大阪大学	MA~ME	210~214
京都大学	MA~MJ	215~224
神戸大学	MA	225

▼WAR

学校名	チーム名	チーム番号
岩手大学	WA	301
東北大学	WA~WB	302~303
新潟大学	WA~WB	304~305
千葉大学	WA	306
早稲田大学	WA	307
実践女子大学	WA~WB	308~309
相模女子大学	WA	310
東京工業大学	WA	311
日本女子大学	WA	312
茨城大学	WA	313
横浜市立大学	WA~WB	314~315
十文字学園女子大学	WA~WB	316~317

混成チームは、代表者の大学名を記載しております。

一般の部第1走者スタート時の選手の並び順は、各校の第1チーム（チーム名がMA、WA、XA）が最前列となります。

名古屋大学	WA	318
椋山女学園大学	WA~WD	319~322
神戸大学	WA	323
(混成)相模女子大学	WA	324
(混成)フェリス女学院大学	WA	325
(混成)京都女子大学	WA	326
(混成)奈良女子大学	WA	327

▼XAR

学校名	チーム名	チーム番号
岩手大学	XA	401
東北大学	XA~XC	402~404
北海道大学	XA	405
福島大学	XA	406
金沢大学	XA	407
新潟大学	XA~XB	408~409
筑波大学	XA	410
東京農工大学	XA~XC	411~413
横浜国立大学	XA	414
一橋大学	XA	415
名古屋大学	XA	416
(混成)岩手大学	XA	417
(混成)日本女子大学	XA	418
(混成)奈良女子大学	XA	419

▼BR

学校名	チーム名	チーム番号
東北大学	BA~BB	501~502
宮城学院女子大学	BA	503
慶應義塾大学	BA	504
日本女子大学	BA	505
津田塾大学	BA	506
群馬大学	BA	507
名古屋大学	BA	508
奈良女子大学	BA	509

6

大会役員

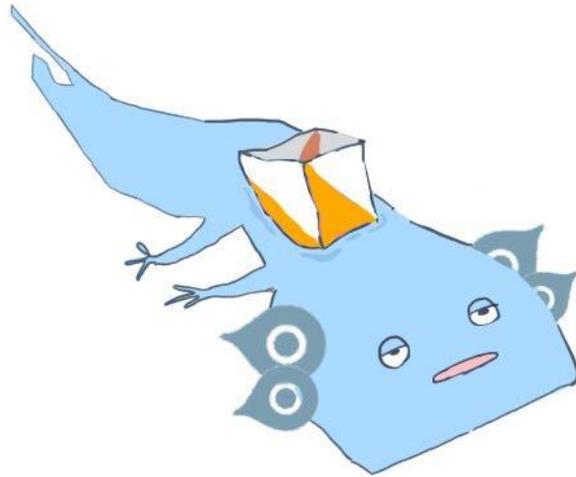
実行委員長	石野 夏幹 (東京10)		
競技責任者	宮川 早穂 (立教12)	競技副責任者	前中 脩人 (東京13)
運営責任者	原田 龍馬 (東北12)	運営副責任者	大田 将司 (一橋15)
渉外責任者	高橋 ひなの (東北15)		
ミドルプランナー	橋本 知明 (東京13)	リレープランナー	小泉 知貴 (慶應義塾13)
併設大会実行委員長	猪俣 祐貴 (東京13)	併設大会副実行委員長	堀田 遼 (東京09)
会計責任者	新井 梨子 (東北13)		
広報責任者	大久保 宗典 (東京12)		
人事責任者	渡辺 菜央美 (名古屋12)		
エントリー責任者	富山 稜真 (千葉14)		
会場チーフ	小川 茉乃 (茨城13)	会場サブチーフ	松島 彩夏 (立教13)
受付チーフ	上松 遼 (一橋12)	受付サブチーフ	平入 麻衣 (横浜市立13)
スタートチーフ	増田 七彩 (東京13)	スタートサブチーフ	新井 悠功 (新潟10)
フィニッシュチーフ	大川 拓哉 (東北13)	フィニッシュサブチーフ	堀江 優貴 (東北14)
演出チーフ	木島 佑輔 (東京13)	演出サブチーフ	田中 大貴 (一橋13)
救護チーフ	祐谷 大輝 (東京12)	救護サブチーフ	井倉 幹大 (東京13)
計センチーフ	大西 正倫 (東京13)	計センサブチーフ	中野 喬博 (東京14)
Web・GPS担当	上野 康平 (東京工業15)	Web副担当	大川 貴聖 (東北12)
宿泊・交通担当	三科 圭史 (東京14)		
資材担当	阿部 稜 (東北12)		
開会式担当	宮下 旺 (横浜国立15)		
モデルイベント担当	森元 駿介 (横浜国立15)		
運営者グッズ・表彰担当	森谷 風香 (千葉15)		
N/G担当	石神 愛海 (実践女子13)		
結城 克哉 (東京09)	中澤 寛典 (名古屋11編)	細淵 晃平 (一橋10)	
福井 悠太 (東京12)	東 将央 (横浜国立12)	小柴 滉平 (筑波12)	
倉本 竜太 (京都10)	細川 知希 (名古屋10)	北川 賢也 (横浜市立15)	
松尾 怜治 (東京14)	三好 花奈 (宮城学院女子14)	佐藤 あかり (岩手県立14)	
成澤 春菜 (フェリス14)	山岸 夏希 (筑波15)	大竹 達也 (金沢13)	
久野 元嗣 (千葉14)	有賀 裕亮 (早稲田14)		

地図調査者 山川 克則 石澤 俊崇 宮西 優太郎 坂野 翔哉 高野 兼也

イベント・アドバイザー 石澤 俊崇 (早稲田93)

日本学連ミドル・リレー担当理事 海老 成直 (中央04)

大会マスコットキャラ



大会公式マスコット「ウパ原」

作：成澤 春菜

2019年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門
報告書

発行日： 2020年7月19日

発行者： 2019年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門 実行委員会

発行責任者： 石野 夏幹（実行委員長）

編集責任者： 大久保 宗典（広報責任者）